付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDレコーダーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈 〉は個数です。

□リモコン……〈1〉（☞17ページ）（品番：N2QAYB000481）	□電源コード……〈1〉（☞24ページ）TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2 用（品番：TXFMX01LCUJ）TH-P46S2/TH-P42S2 用（品番：TXFMX01LAUJ）	□取扱説明書……〈各1〉基本ガイド（本書） かんたんガイド（別冊） 接続ガイド（別冊）
□単3形乾電池……〈2〉（リモコン用）（☞17ページ）	□B-CAS（ビーキャス）カード……〈1〉（☞25ページ）表面 裏面 （カードの紛失時は☞25ページ）	□据置きスタンドセット……〈一式〉（☞20、21ページ）□転倒・落下防止部品……〈一式〉（☞20、23ページ）据置きスタンドの袋に入っています。

●乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

ID番号		
「B-CASカード」「ID表示」（?ガイド160）で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）	
	デコーダー ID	

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ●ジージー・パチパチと異常な音がする。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止：故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

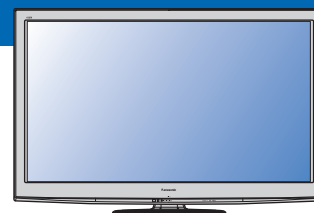
便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TH-
	販 売 店 名	☎（ ） －	お客様ご相談窓口 ☎（ ） －	

廃棄時にご注意願います！ 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

S1209-8070

基本ガイド

●ご使用前に知っていただきたいことや本機の特長などを記載しています。

Panasonic

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョンプラズマテレビ

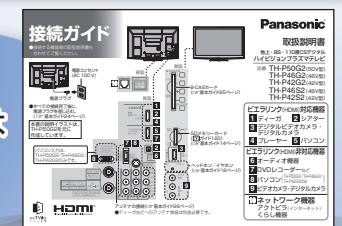
品番 TH-P50G2（50V型）
TH-P46G2（46V型）
TH-P42G2（42V型）
TH-P46S2（46V型）
TH-P42S2（42V型）

（イラスト：TH-P50G2）

VIERA ビエラ

VIERA（ビエラ）の操作ガイドは画面に表示されます
ガイド ? を押すと表示。

必ず最初に読んでください 安全上のご注意（☞56～59ページ）

外部機器をつなぐときは 接続ガイド

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ●「基本ガイド」（本書）、「電子説明書（操作ガイド）」、「接続ガイド」および「かんたんガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」（☞56～59ページ）を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。（☞23ページ）
- ●基本ガイドは、50V型（TH-P50G2）、46V型（TH-P46G2、TH-P46S2）、42V型（TH-P42G2、TH-P42S2）共用です。
- ●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0752-3

もくじ

※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

テレビ画面で
使いかたが分かる!
操作ガイド
（電子説明書）

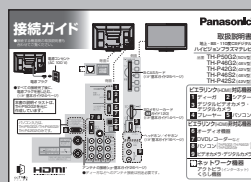
本書では「電子説明書」と記載しています。

基本ガイド
（本書）

接続ガイド
（別冊）
ディーガなどを接続するとき

基本の使いかたが分かる!
かんたんガイド（別冊）

もくじ

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-P50G2を元に作成しています。

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞56～59ページ）

紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
（http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）

本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。
ただし、電話回線接続による双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。

電子説明書（操作ガイド）もくじ

ガイド[?]と3桁の数字（リモコンの数字ボタン）を押すと、テレビ画面に表示します。

電子説明書（操作ガイド）の使いかたは8、9ページをご覧ください。

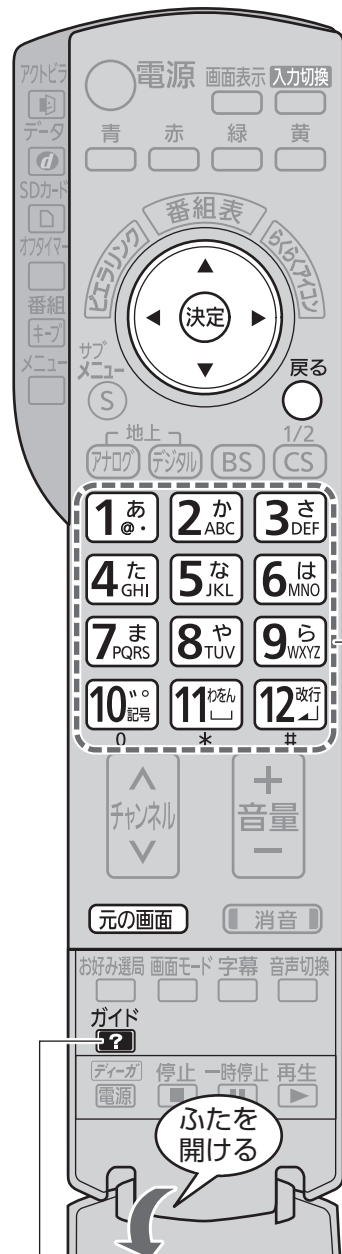
言葉でさがす（さくいん）

困ったとき
●テレビの具合がおかしい
●メッセージが表示される
●Q&A集

※の項目は、TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2にのみ表示されます。

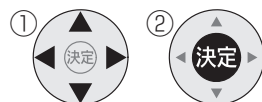
電子説明書(操作ガイド)の使いかた

本機は電子説明書を内蔵しています。

●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。

トップページから見る

1 テレビを見ているときに ガイド[?] を押す

●もう一度押すと、テレビ画面に戻る。

2 見たい項目を選び、「決定」を押す

●①と②を繰り返し、見たい情報を見る。

トップページ

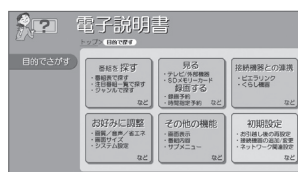
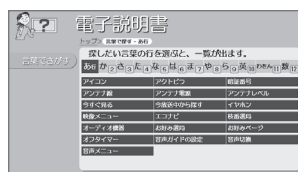
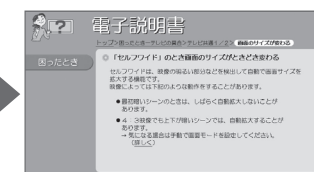
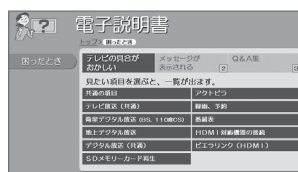
音声案内を止めたいとき

3つの入り口から探すことができる

■項目に番号があるとき

リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます。

(「■準備」など、番号のない項目は [12] を押す)

目的でさがす

言葉でさがす

困ったとき

■音声案内について

トップページと次のページでは、電子説明書の使いかたを音声でご案内します。

●音声案内を聞き直したいときは、[12] を押す。

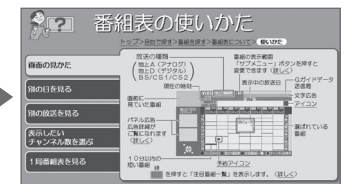
- トップページのみ、聞き直しができます。
- 「音声案内を止める」選択時は聞き直しはできません。

見たい情報に直接飛ぶ

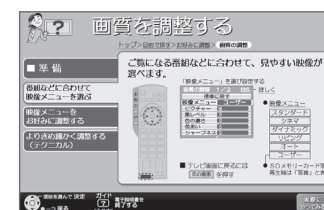
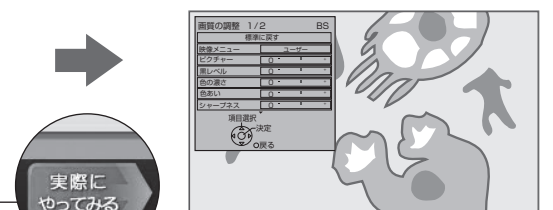
本書に「(? ガイド○○○)」の記載があるときは、3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

テレビを見ているときに、「ガイド」ボタンを押してから3桁の番号を押す

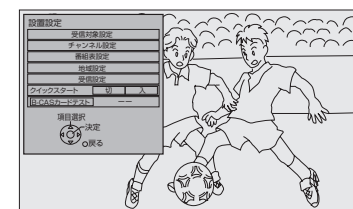
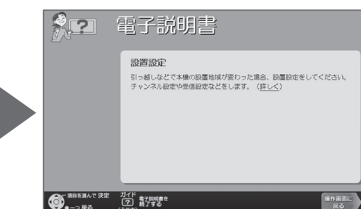
ガイド[?] [5] [10] [1]

●やり直すときは、「戻る」を押す。(1つ前の画面に戻る)

■テレビ画面を表示していないとき [元の画面] を押してから、ガイド[?] を押す。

■説明を見たあと、実際に操作するには

「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

例:「画質の調整」画面

実際の「画質の調整」画面を表示

■操作の途中で、わからなくなったときは

操作中に ガイド[?] を押す

例:設置設定画面を出しているとき

設置設定に関連した説明を表示

●「操作画面に戻る」が表示された場合は、選んで「決定」を押すと再度操作に戻ることができます。

■エラーメッセージに [?] が表示されているとき ガイド を押すと、その説明を表示。

基本の使いかた

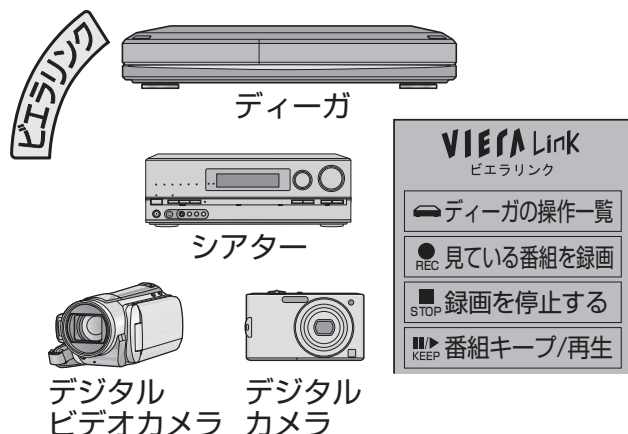
電源 テレビをつける

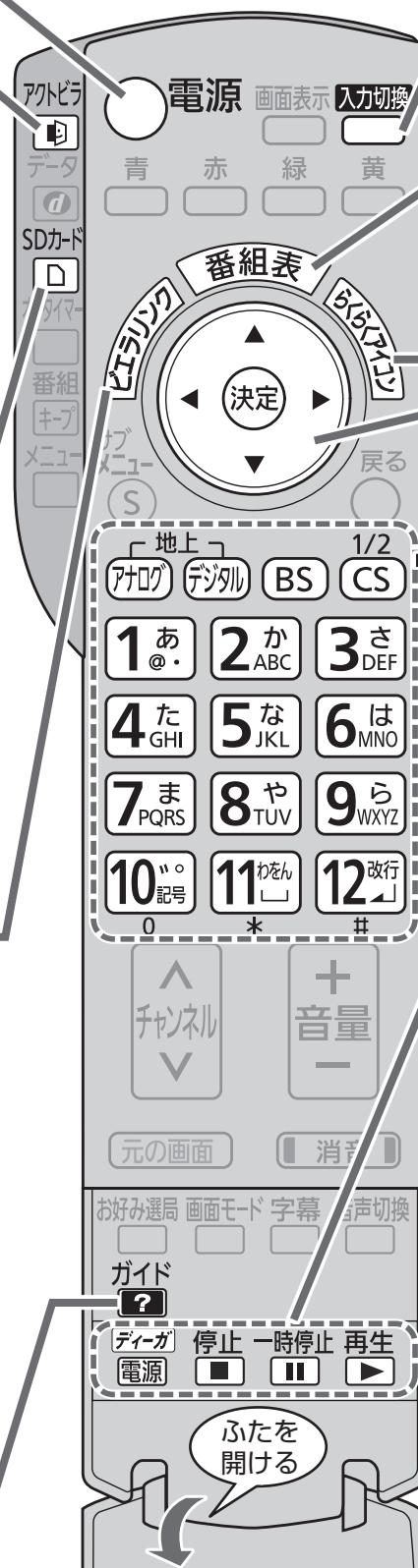
インターネット(アクトビラ)

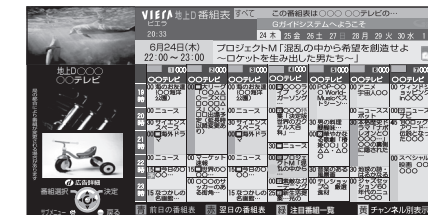
(☞ 42ページ)

SDメモリーカードの写真やビデオを見る

(ガイド120)(☞ 14ページ)

ビエラリンク対応機器を使う

(ガイド480)(☞ 12ページ)

ガイド 電子説明書を見る(☞ 8ページ)

入力切換 DVDやビデオを見る(ガイド110)

番組表を見る

番組表の見かた
(ガイド501)
番組を探す
(ガイド011)
録画予約する
(ガイド251)

らくらくアイコンを使う(下記)

画面上で選ぶ/決定する(下記)

テレビを見る (ガイド101)

アナログ デジタル(地上) BS CS(1/2) 放送を切り換える

1 ～ 12 チャンネルを切り換える

当社製レコーダー(ディーガなど)を操作する (ガイド493)

ディーガ 電源	電源「入」「切」	停止 ■	停止する
一時停止 ❚❚	一時停止する	再生 ▶	再生する

らくらくアイコンを使う(ガイド150)

画面下に表示

ディーガ録画一覧
(ディーガ操作一覧)

ジャンル
検索

スライド
ショー

注目番組

ビデオ一覧

画面上で選ぶ/決定する

ビエラリンク（HDMI）を使う

接続かんたん! **配線**スッキリ!!

●詳しくは
（接続ガイド1～5）

1本だけ!

HDMIケーブル
（別売品）

連動

パソコン

ブルーレイディスクプレーヤー

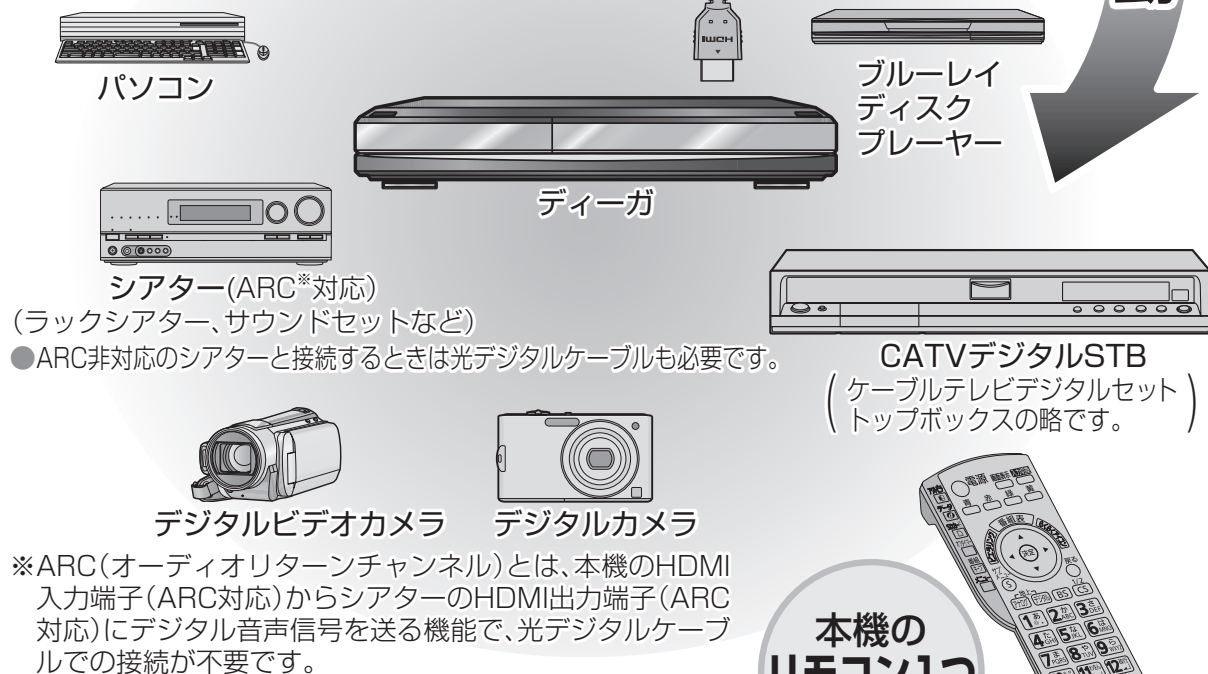
ディーガ

シアター（ARC※対応）
（ラックシアター、サウンドセットなど）

●ARC非対応のシアターと接続するときは光デジタルケーブルも必要です。

CATVデジタルSTB
（ケーブルテレビデジタルセットトップボックスの略です。）

デジタルビデオカメラ　デジタルカメラ

※ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、本機のHDMI入力端子（ARC対応）からシアターのHDMI出力端子（ARC対応）にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。

本機のリモコン1つで操作!

本機のリモコンで機器を操作（例）

（ビエラリンク）を押す ➡ 「ビエラリンクメニュー」から選び、「決定」を押す

VIERA Link
ビエラリンク

- **ディーガの操作一覧** ― ディーガの画面を操作する（?ガイド481）
- **REC 見ている番組を録画** ― 見ている番組をディーガにすぐに録画する（?ガイド485）
- **STOP 録画を停止する**
- **KEEP 番組キープ/再生** ― 番組の視聴を一時中断・再開する（?ガイド540）

連動して操作かんたん!

ディスク再生

（?ガイド484）

ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。（電源オン連動「する」設定時）

一斉電源「切」（電源オフ連動）

本機、ディーガ、シアターを使用中、本機の電源を「切」にすると、すべての機器の電源も一斉に「切」になります。（設定は下記参照）

使っていない機器の電源を自動で「切」にする（こまめにオフ）
（設定は下記参照）

待機電力を最小にする（ECOスタンバイ）
（設定は下記参照）

シアターのリモコンで、DVDなどをワンタッチ再生

（ワンタッチ再生ボタンのあるシアターのみ）
（?ガイド491）

ビエラリンク（HDMI）設定のしかた

●詳しくは（?ガイド801）

① （メニュー）を押す

②「設定する」を選び、「決定」を押す

③「初期設定」を選び、「決定」を押す

④「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

⑤「ビエラリンク（HDMI）設定」を選び、「決定」を押す

⑥「ビエラリンク（HDMI）制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク（HDMI）設定

項目		
ビエラリンク（HDMI）制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	しない	
電源オン時の音声出力	テレビ	シアター
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大

お好みで設定する

■ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは 「Q&A集」（?トップページから）

こんなことができます SDメモリーカード／音声ガイド　アクトビラ／くらし機器／エコナビ

SDメモリーカード

デジタルカメラで撮影した写真(画像)や、デジタルビデオカメラで撮影したビデオ(動画)を、テレビ画面で見ることができます。(?ガイド120)

●FAT16またはFAT32フォーマットされたSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。
●SDXCメモリーカードは2010年2月発売予定です。(2009年12月現在)

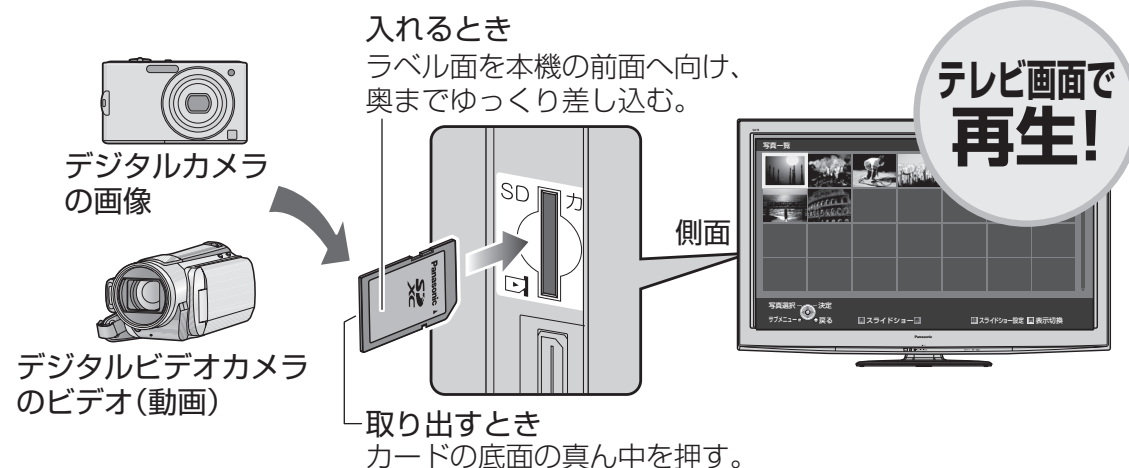
デジタルカメラの画像

デジタルビデオカメラのビデオ(動画)

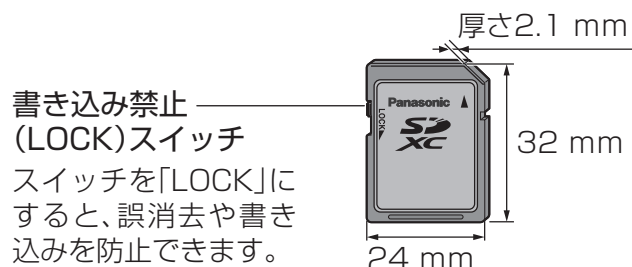
入れるとき
ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込む。

側面

取り出すとき
カードの底面の真ん中を押す。

テレビ画面で再生!

●miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
●再生中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり、正常に動作しなくなる場合があります。

書き込み禁止(LOCK)スイッチ
スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。

厚さ2.1 mm　32 mm　24 mm

●規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

音声ガイド

番組表の内容や選局時および「入力切換」ボタンを押したときの切り換え先、エラーメッセージなどを読み上げます。

●音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

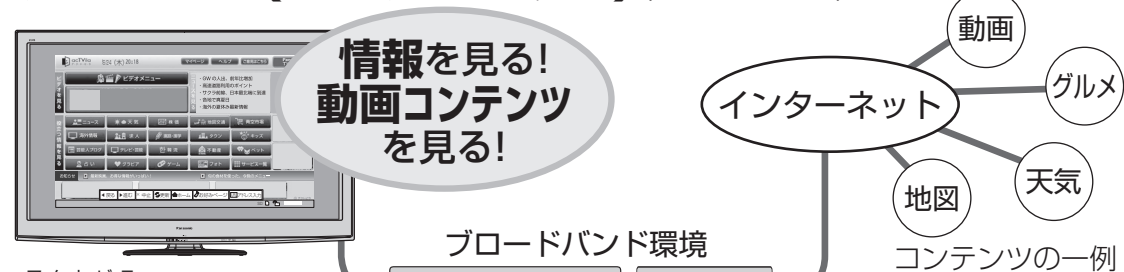
設定画面を表示するには、「ポン」と音がするまで メニュー を押し続ける。

●詳しくは(?ガイド411)

番組内容などを音声で案内!

アクトビラ(インターネット)(☞42ページ)

情報を見る! 動画コンテンツを見る!

インターネット　動画　グルメ　天気　地図
ブロードバンド環境　コンテンツの一例

acTVila(アクトビラ)とは…
●インターネットを利用して情報や動画コンテンツを見ることができるサービスです。
●アクトビラでは、テレビ向けのコンテンツ(情報やデータ)を見ることができます。「アクトビラ」ボタンを押すと、専用のホームページ(ポータルサイト)につながります。
●ブロードバンド環境が必要です。
●本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
●システム障害などによりコンテンツを表示できない場合があります。
●最新情報は、http://panasonic.jp/support/actvila/ を参照してください。

マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。

くらし機器(☞41、50ページ)

画面で訪問者を確認!

ピーンポーン

くらし機器とは…
●本機とLANケーブルで接続し、本機の画面で画像の確認ができる機能を持った機器です。
●本機にくらし機器を接続、登録すると…
　●外の様子が気になったときに「ビエラリンク」メニューでくらし機器の映像を見たり、操作するなどできます。
　●ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、本機の画面に表示できます。

エコナビ(?ガイド303)

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

■エコナビ設定時の省エネ効果について
●エコナビ「オン」時は、エコナビ「オフ」時に対して、約10%消費電力を削減します。(視聴環境により、効果は異なります。)
<測定条件>
●映像メニュー：スタンダード(標準)
●照度：250ルクス
●カラーバー信号受像

テレビが自動で消費電力を低減!

エコナビ表示

各部のはたらき（本体）

前 面

説明イラストは、TH-P50G2を元に作成しています。

リモコン受信部
- 正面…約7 m以内
- 左右…各約30°
- 上下…各約20°

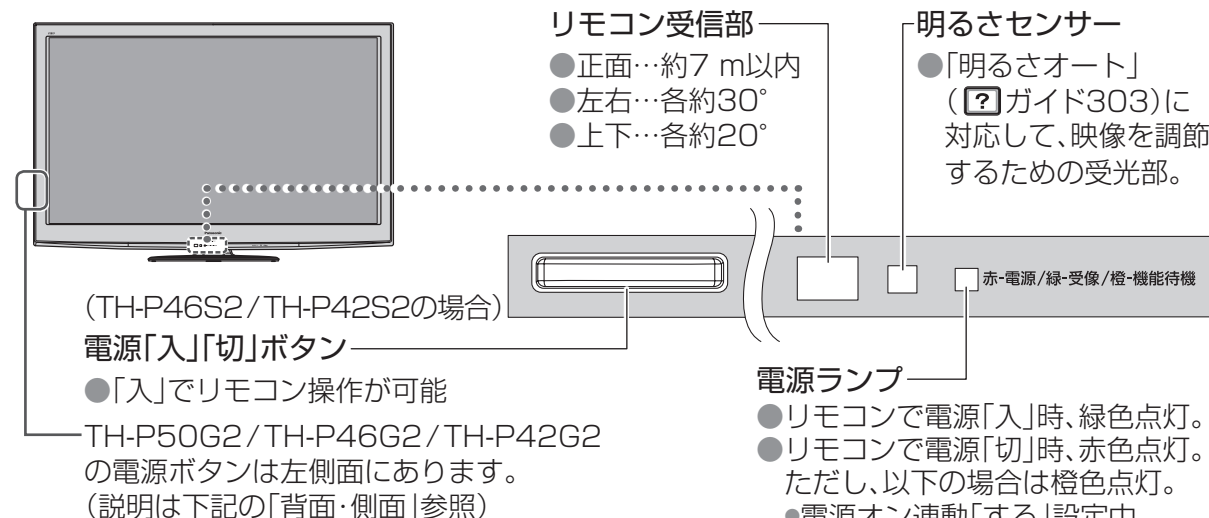
明るさセンサー
- 「明るさオート」（?ガイド303）に対応して、映像を調節するための受光部。

（TH-P46S2/TH-P42S2の場合）

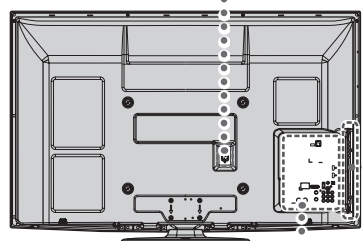
電源「入」「切」ボタン
- 「入」でリモコン操作が可能

TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2の電源ボタンは左側面にあります。（説明は下記の「背面・側面」参照）

電源ランプ
- リモコンで電源「入」時、緑色点灯。
- リモコンで電源「切」時、赤色点灯。ただし、以下の場合は橙色点灯。
  - 電源オン連動「する」設定中。
  - 予約録画実行中。
  - クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内。
- 本体で電源「切」時に、消灯。

お願い

- 明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

背面・側面

電源コード差し込み口
（☞24ページ）

背面端子部
（☞26、27ページ、接続ガイド）

（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2の場合）

電源「入」「切」ボタン
- 「入」でリモコン操作が可能。

（TH-P46S2/TH-P42S2の電源「入」「切」ボタンは前面にあります。）

側面端子（☞接続ガイド）／操作部

- チャンネルを順送りで選ぶ
- 音量を調整する
- 放送を切り換える／外部入力にする
- B-CASカード挿入口（☞25ページ）
- SDメモリーカード挿入口（☞14ページ）（?ガイド120）
- ヘッドホン／イヤホン接続端子（ステレオ：M3プラグ）

お知らせ

- 電源「切」時・電源ランプ赤色点灯時・無点灯時の場合も、一部の回路は通電しています。

（リモコン）

電子説明書の使いかた（☞8ページ）

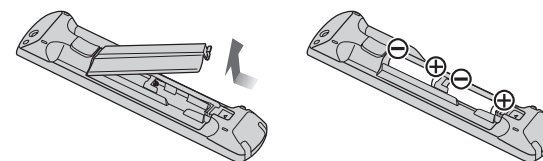
- 本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
- アクトビラを開く（☞42ページ）
- データ放送を見る（?ガイド190）
- SDメモリーカードを使う（?ガイド120）
- ビエラリンク対応機器を使う（☞12ページ）
- オフタイマーを使う（?ガイド358）
- 番組キープ機能を使う（?ガイド540）
- メニュー画面を表示する
- サブメニューを表示する（?ガイド460）
- チャンネルを切り換える／文字を入力する
- チャンネルを順送りで選ぶ
- テレビ放送画面に戻る
- 選局表から見たい局を選ぶ（?ガイド104）
- 画面サイズを変える（?ガイド320）
- 電子説明書を見る（☞8ページ）
- 当社製レコーダー（ディーガなど）を操作する（?ガイド494）
- 番組のタイトルなどを表示する（?ガイド451）
- 外部入力に切り換える（ビデオ・DVDなど）（?ガイド110）
- 画面に従って使う
- 番組表を見る（?ガイド500）
- らくらくアイコンを使う（☞11ページ）
- 画面上で選ぶ／決定する
- 1つ前の画面に戻る
- 放送を切り換える（放送切換ボタン）（?ガイド101）
  - 押すとボタンが点滅。（1～12を押しても点滅）
  - 前回選んだボタンを記憶しています。
  - 見ない放送のボタンを使えないようにできます。（地上アナログ・BS・CSのみ）（?ガイド704）
- 音量を調整する（画面下に音量を表示）
- 音を消す（もう一度押すと解除）
- 2カ国語/ステレオなどを切り換える（?ガイド316）
- 字幕がある場合に、字幕「オン」「オフ」を切り換える（?ガイド380）

ふたを開ける

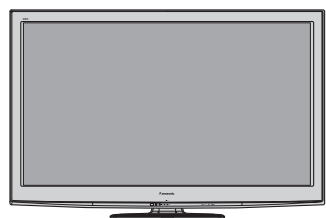
リモコンに乾電池を入れる

①ふたを開ける。

②単3形乾電池（付属品）を⊖側から入れ、ふたを閉める。

お願い

- リモコンに液体のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

本機で楽しめる放送

地上デジタル放送

地上アナログ放送
（2011年7月終了予定）

BSデジタル放送

110度CSデジタル放送

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、
それをハイビジョン化したものが中心です。（2009年12月現在）
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

- 受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。（地上アナログ放送と方向が違う場合があります。）
- 地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。（従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります。）
- 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
- 放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。
- 地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

お問い合わせ先

- 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
  電話番号：0570−07−0101（IP電話等でつながらない場合は、03−4334−1111）
  受付時間：平日…9:00〜21:00、土日・祝日…9:00〜18:00
- 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
- さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

衛星（BS・110度CS）放送について

■BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング サテライト））を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

■110度CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite（コミュニケーションズ サテライト））を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

- 衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は35ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

- 「WOWOW」　公式ホームページ：http://www.wowow.co.jp/
  カスタマーセンター：0120−580807　受付時間 9:00 〜20:00（年中無休）
- 「スター・チャンネル」　公式ホームページ：http://www.star-ch.jp/
  カスタマーセンター：0570−013−111（ナビダイヤル）
  （PHS・IP電話のかたは045-339-0399）　受付時間 10：00 〜18：00
  - スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ e2 カスタマーセンターへお問い合わせください。
- 「スカパー！ e2」　公式ホームページ：http://www.e2sptv.jp/
  カスタマーセンター：0570−08−1212（ナビダイヤル）
  （PHS・IP電話のかたは045−276−7777）受付時間 10：00 〜20：00（年中無休）

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送について

- 従来からのVHF・UHF放送のことです。
- 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。

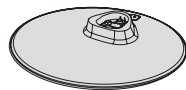
設置する（据え付け）

本機には据置きスタンドが付属しています。据置きスタンドをご使用の際は、下記の組み立てかたをよくお読みの上、しっかりと本機へ取り付けてご使用ください。

据置きスタンド（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2）

■構成部品

〈　〉は個数です。

□ スタンド本体……………〈1〉

品番：50V型/46V型 ………………………………… TBLX0144
42V型（ブルーブラック、ディープシルバー）… TBLX0143
42V型（ディープブラウン）…………………… TBLX0140

■構成部品(別袋)

□ スタンドポール …………………〈1〉

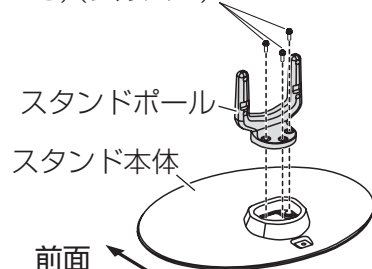
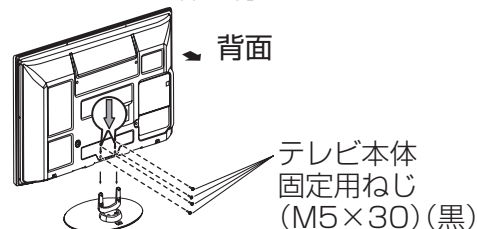
品番：50V型/46V型 … TBLA3834
42V型 …………… TBLA3828

□ スタンドポール固定用ねじ ……〈3〉
（M5×18）（シルバー）
（品番：XYN5+F18FN）

□ テレビ本体固定用ねじ …………〈4〉
（M5×30）（黒）
品番：50V型/46V型 … THEL079N
42V型 …………… THEL080N

□ 転倒・落下防止部品 ……………〈一式〉
（取り付けかたは ☞ 23ページ）
金具……………………… 〈1〉
ベルト…………………… 〈1〉
木ねじ…………………… 〈1〉
ねじ（金具用）………… 〈1〉
ねじ（ベルト用）……… 〈1〉
品番：50V型/46V型 … TXFKL01LHUJ
42V型 ………… TXFKL01LFUJ

■組み立てかた

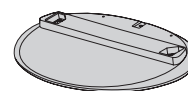
①スタンド本体にスタンドポールを取り付け、スタンドポール固定用ねじで固定する。
・ねじはしっかりと締め付けてください。

②テレビ本体に取り付ける
・テレビ本体を包装箱から出して据置きスタンドに設置する。
(1)下図のように、テレビ本体の穴（⇩の底面にあります）をスタンドポールに合わせる。
(2)テレビ本体を止まる位置まで差し込む。
(3)テレビ本体固定用ねじを使って、しっかりと固定する。
・ねじはしっかりと締め付けてください。

■外しかた

壁掛け設置、セット箱に収納するときなどは、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを外してください。
①テレビ本体固定用ねじ（M5×30）（黒） 4本を取り外す。
②テレビ本体から、据置きスタンドを取り外す。
③スタンドポール固定用ねじ（M5×18）（シルバー） 3本を取り外す。

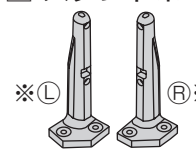
据置きスタンド（TH-P46S2/TH-P42S2）

■構成部品

〈　〉は個数です。

□ スタンド本体…………………〈1〉

品番：46V型 ………………… TBLX0153
42V型 ………………… TBLX0172

■構成部品(別袋)

□ スタンドポール ………………〈各1〉

※Ⓛは前面から見て左、Ⓡは右用です。Ⓛ、Ⓡは底面に刻印されています。

品番：46V型………… TBLA3680(Ⓛ)
TBLA3679(Ⓡ)
42V型………… TBLA3690(Ⓛ)
TBLA3689(Ⓡ)

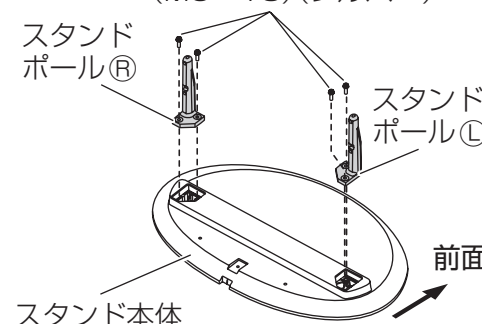
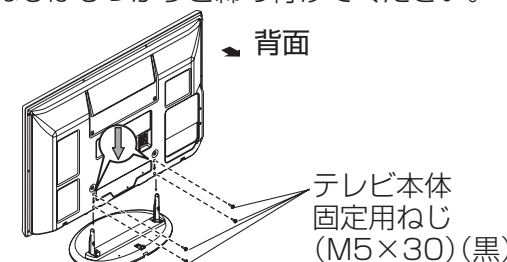
□ スタンドポール固定用ねじ ……〈4〉
（M5×18）（シルバー）
（品番：XYN5+F18FN）

□ テレビ本体固定用ねじ …………〈4〉
（M5×30）（黒）
品番：46V型 …… THEL080N
42V型 …… THEL079N

□ 転倒・落下防止部品 ……………〈一式〉
（取り付けかたは ☞ 23ページ）

金具…………………… 〈1〉
ベルト………………… 〈1〉
木ねじ………………… 〈1〉
ねじ…………………… 〈1〉
品番：46V型 ……… TXFKL01LBUJ
42V型 ……… TXFKL01LAUJ

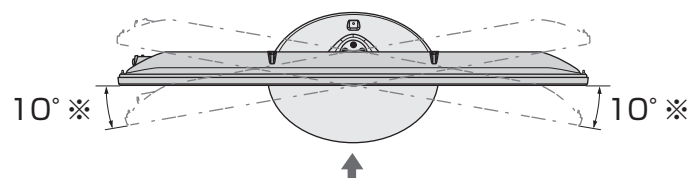
■組み立てかた

①スタンド本体にスタンドポールⓁ、Ⓡを取り付け、スタンドポール固定用ねじで固定する。
・ねじはしっかりと締め付けてください。

②テレビ本体に取り付ける
・テレビ本体を包装箱から出して据置きスタンドに設置する。
(1)下図のように、テレビ本体の穴（⇩の底面にあります）をスタンドポールに合わせる。
(2)テレビ本体を止まる位置まで差し込む。
(3)テレビ本体固定用ねじを使って、しっかりと固定する。
・ねじはしっかりと締め付けてください。

■外しかた

壁掛け設置、セット箱に収納するときなどは、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを外してください。
①テレビ本体固定用ねじ（M5×30）（黒） 4本を取り外す。
②テレビ本体から、据置きスタンドを取り外す。
③各スタンドポール（Ⓛ、Ⓡ）固定用ねじ（M5×18）（シルバー） 4本を取り外す。

設置する（回転機能／壁掛け金具）（転倒・落下防止）

回転機能について（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2）

●見やすい角度に合わせてお使いください。
●TH-P46S2/TH-P42S2には回転機能はありません。

プラズマパネル面
※TH-P42G２の回転角度は15°です。

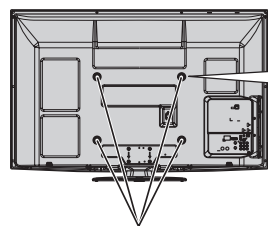
お願い

●テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手や物を置かないでください。
●据置きスタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続コードが断線しないように、余裕をもたせて配線してください。

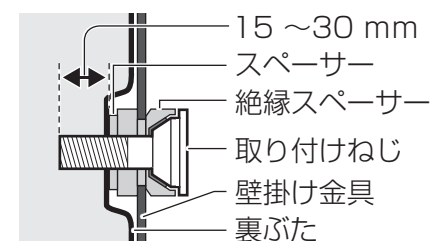
壁掛け金具（別売品）

別売の壁掛け金具を取り付けて壁掛け設置することができます。
本機を設置される際は、お求めの販売店にご相談ください。
また、本機専用の壁掛け金具（下記）を必ずご使用ください。

品　番 （2009年12月現在）
角度可変型：TY - WK4P1R
●50V型、46V型、42V型共用です。
●垂直（0°）～下向き20°まで5段階調整できます。

＜背面＞

専用壁掛け金具取り付け用ねじ穴

専用壁掛け金具に付属している取り付けねじは、壁掛け金具の取り付け面からの長さが以下のように設定されています。
付属の取り付けねじ以外は使用しないでください。

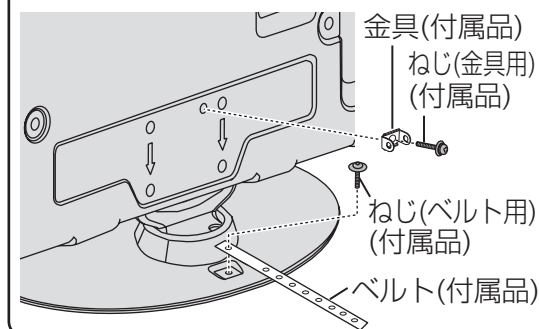
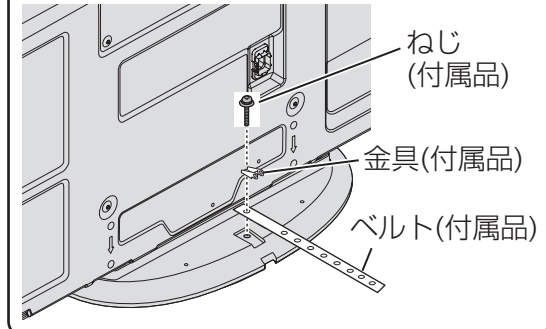
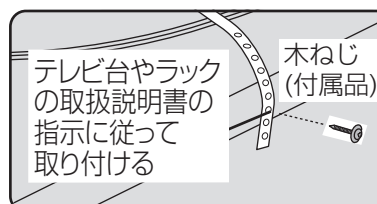
＜壁掛け金具取り付け部断面図＞

お願い

●壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
●設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
●本機に専用壁掛け金具（別売品）を取り付ける際は、専用壁掛け金具に付属している取り付けねじをご使用ください。
●取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。
●一部のHDMIケーブル（RP-CDHG100［10 m］）や先端部が長いパソコン用のミニD-sub15Pケーブルを使用時は、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

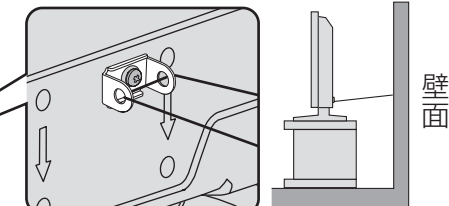
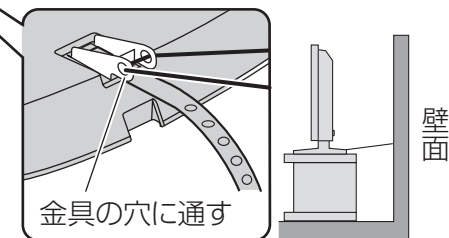
安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。
転倒・落下防止部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
※テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

①据置きスタンドにベルトと金具（付属品）を取り付ける

（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2の場合）

（TH-P46S2/TH-P42S2の場合）

②テレビ台に固定する

③壁面に固定する

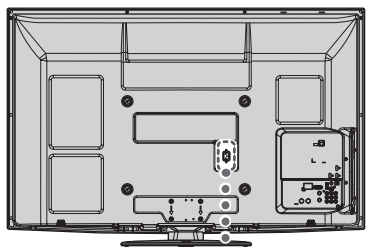
転倒・落下防止部品の金具に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する

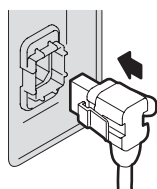
（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2の場合）

（TH-P46S2/TH-P42S2の場合）

お願い

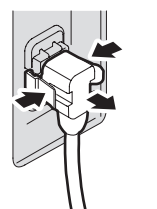
●壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品をご使用いただき、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。
●ひもやワイヤーは、本体が回転できるように取り付けてください。（TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2のみ）

設置する（電源コード）

電源コードについて

電源コードは本機にアンテナや外部機器をすべて接続した後、下記の手順で差し込んでください。

電源コード差し込み口

①電源プラグ（本体側）を本体に差し込む

差し込みかた

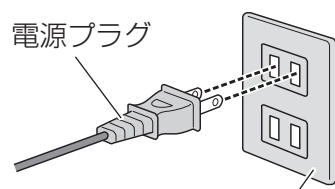
左右のつめがカチッと音がするまでしっかりと、差し込む

外しかた

横のつまみを押しながら抜く

②電源プラグを電源コンセントに差し込む

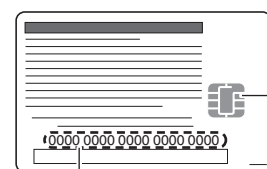
お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 「使用許諾約款」をよくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
  ※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

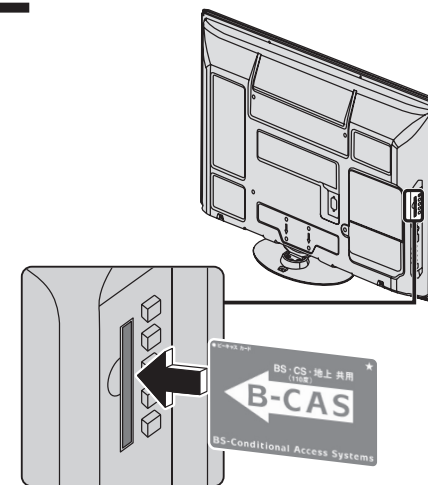
■B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る（☞ 16ページ）

2 B-CASカードを挿入する

カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする（? ガイド739）

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

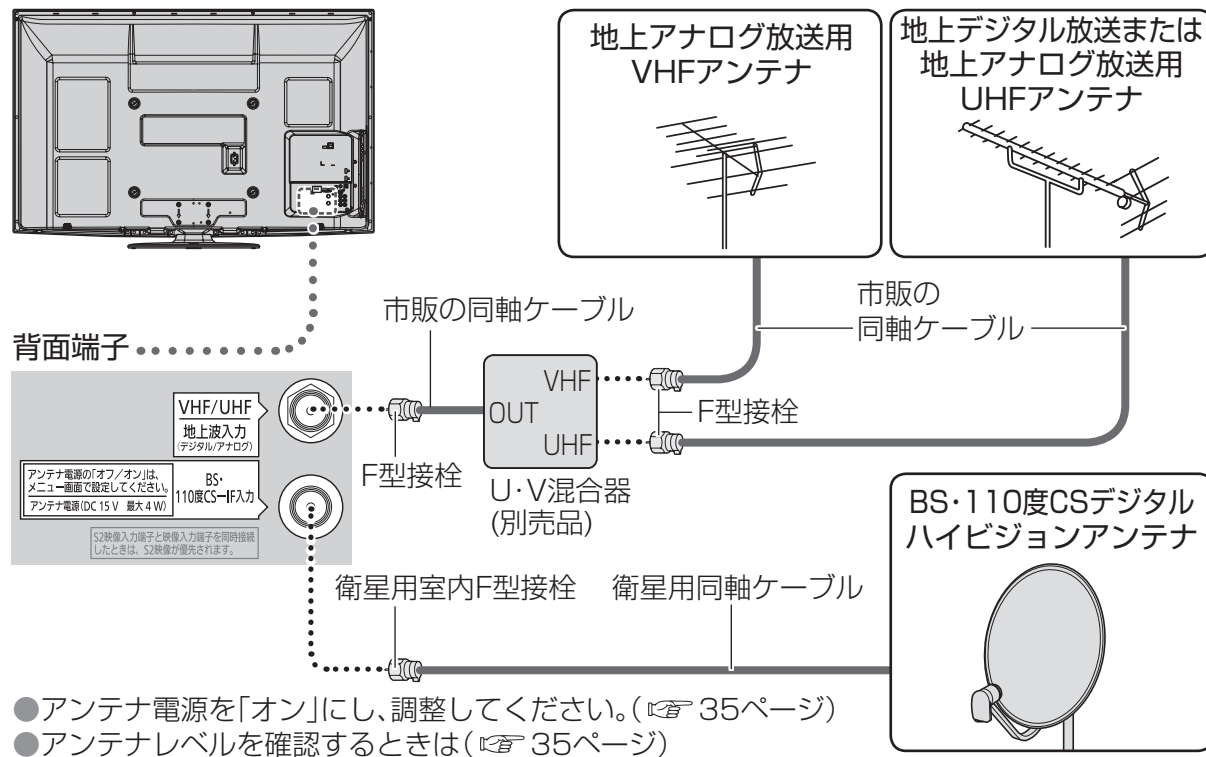
■B-CASカードを抜くとき

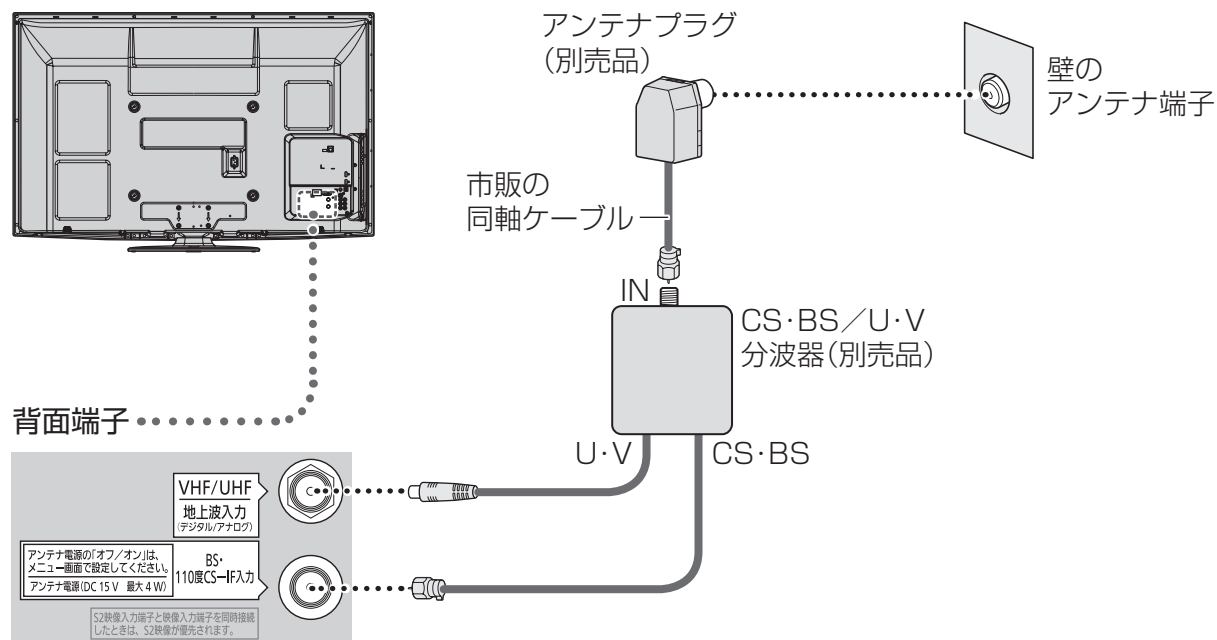
➡ （1）本体の電源ボタンで「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。

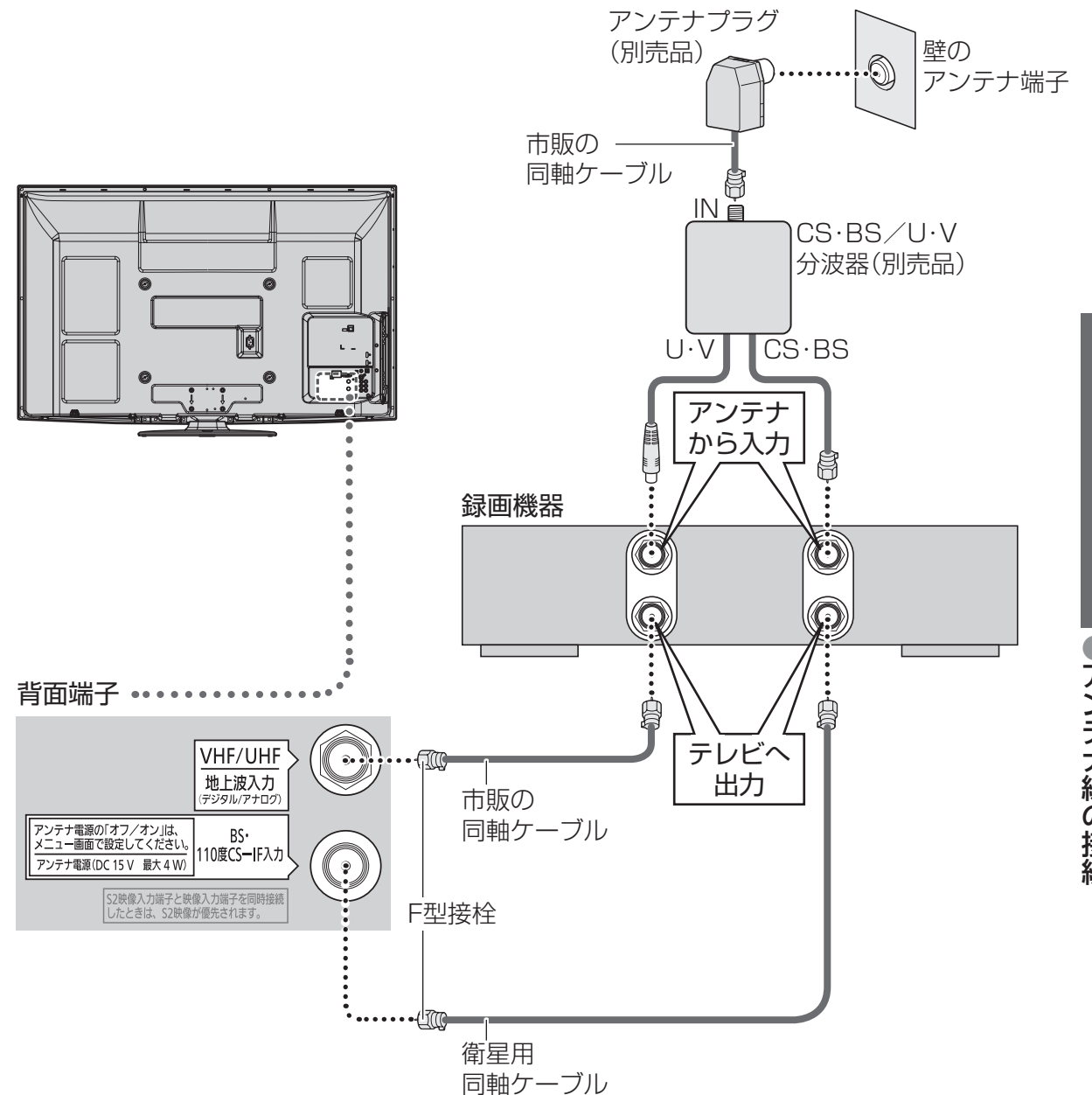
- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

アンテナ線の接続（接続完了後に電源プラグを差し込む。（☞24ページ））

ご自宅など、個別のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞35ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞35ページ）

マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞35ページ）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS·CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル·分配器·分波器·アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
●地上デジタル放送／地上アナログ放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞34ページ）

設置設定をやり直す かんたん設置設定

電子説明書の使いかた
(☞ 8ページ)

こんなときに…
●引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直します。

テレビ画面に戻る

画面に従って順に設定する

1 メニュー を押す

2 「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**

3 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 画面の設定
- 音声の設定
- システム設定
- **初期設定**

4 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

(3秒以上)

- **かんたん設置設定**
- かんたんネットワーク設定
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

初期設定画面

5 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき
①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
②確認画面で◀▶を押して「はい」を選び、「決定」を押す。
③本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

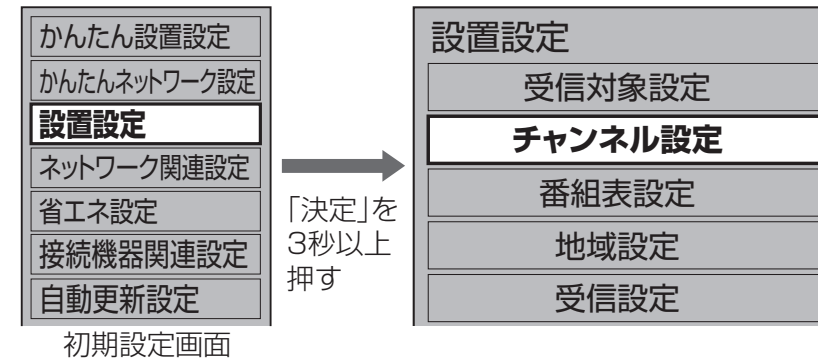
ネットワークの設定をやり直すとき

上記の手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。

- かんたん設置設定
- **かんたんネットワーク設定**
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

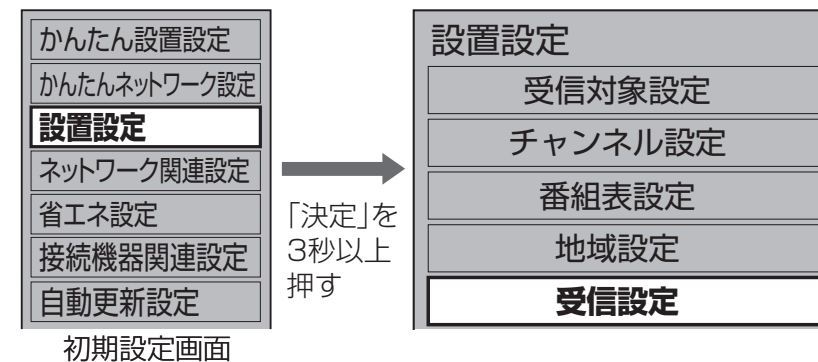
個別にやり直すとき

■チャンネル修正
かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

初期設定画面

●地上アナログ放送のチャンネル修正(☞ 30ページ)
●地上デジタル放送のチャンネル修正※(☞ 32ページ)
●衛星デジタル放送のチャンネル修正(☞ 33ページ)

■受信設定(個別アンテナ使用時)
アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル(受信する電波の質)を確認できます。

- 設置設定
- 受信対象設定
- チャンネル設定
- 番組表設定
- 地域設定
- **受信設定**

初期設定画面

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定(☞ 34ページ)
●衛星デジタル放送の受信設定(☞ 35ページ)

■アッテネーター
放送の電波が強すぎるとき、弱めて安定させます。
●地上デジタル放送／地上アナログ放送(? ガイド723)

■上記以外の項目
電子説明書をご覧ください。(? ガイド703)

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。(☞ 33ページ)

お知らせ
●地上アナログ放送のチャンネル一覧表･放送局コード一覧表、地上デジタル放送のチャンネル一覧表･Gガイド地域一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。(2009年12月現在)
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→
品番選択の「TH-○○○」→取扱説明書の「TH-○○○(放送チャンネルなどの一覧表)」を選ぶ

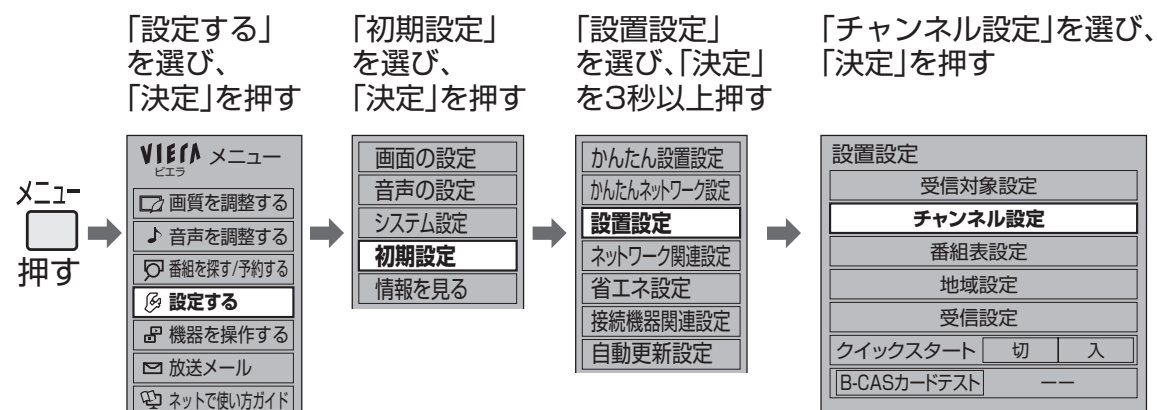
●かんたん設置設定

設置設定をやり直す チャンネル修正

（地上アナログ放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー 押す → 「設定する」を選び、「決定」を押す → 「初期設定」を選び、「決定」を押す → 「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す → 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**
- 機器を操作する
- 放送メール
- ネットで使い方ガイド

地上アナログ放送のチャンネル設定（オート）

受信できる局を自動で探します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定：**地上アナログ** / 地上デジタル / BS / CS1 / CS2

②◀ ▶で「オート」を選び、「決定」を押す
- ●自動的に設定し直します。（数分程度、映像が乱れます）

マニュアル / **オート**

③▲▼でチャンネルを選び、内容を確認する

地上アナログチャンネル設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	ーー
2	14	14	ーー
3	3	3	ーー
4	4	4	ーー

④放送局名を設定する（☞ 次ページ手順④、⑤）

⑤ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上アナログ放送のチャンネル設定（マニュアル）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定：**地上アナログ** / 地上デジタル / BS / CS1 / CS2

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

マニュアル / オート

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選ぶ

地上アナログチャンネル設定

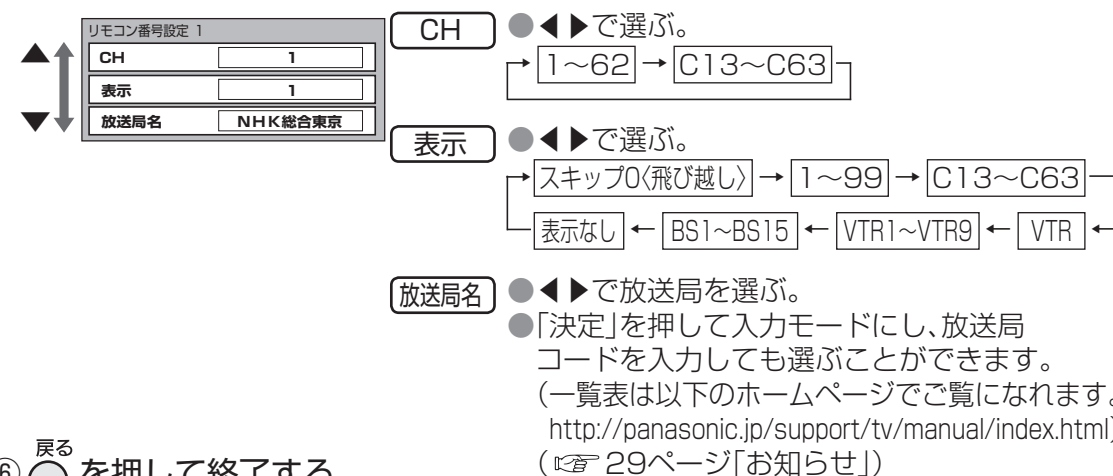
リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

■映りが悪いとき（微調整）
1）手順②の操作後、▲▼でチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
2）◀ ▶で見やすくなるように調整する。（10秒間操作しないと、元の画面に戻る）
3）「戻る」を押す。

④「決定」を押す

⑤▲▼で項目を選び、◀ ▶でそれぞれ修正する

放送局名
- ●◀ ▶で放送局を選ぶ。
- ●「決定」を押して入力モードにし、放送局コードを入力しても選ぶことができます。（一覧表は以下のホームページでご覧になれます。http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）（☞ 29ページ「お知らせ」）

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

設置設定をやり直す チャンネル修正（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー

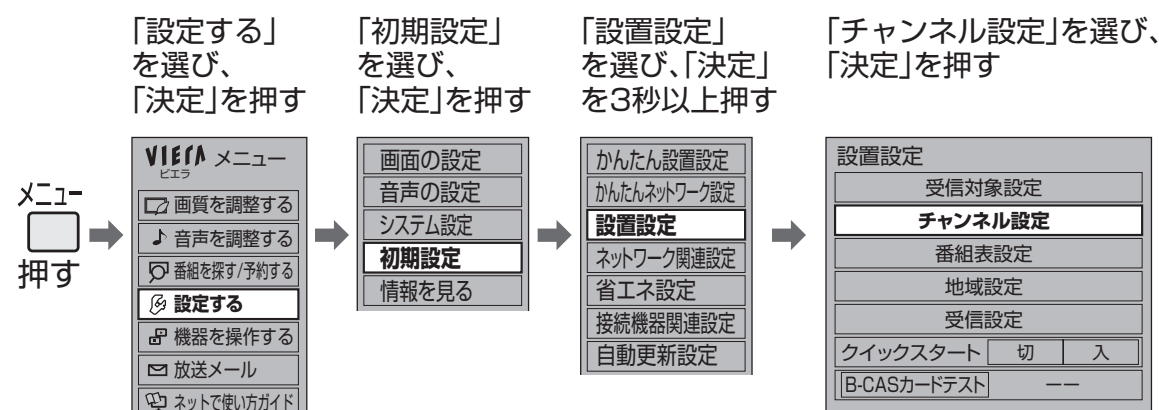
押す

「設定する」を選び、「決定」を押す

「初期設定」を選び、「決定」を押す

「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
クイックスタート 切 入
B-CASカードテスト ーー

地上デジタル放送のチャンネル設定（初期スキャン）

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、
改めて自動でチャンネル設定します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1

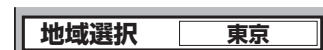
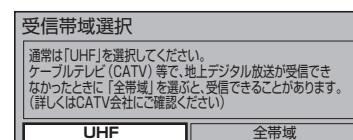
②◀ ▶で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③◀ ▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　東京

④◀ ▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にご確認ください）
UHF　全帯域

●通常は「UHF」を選んでください。
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞次ページ「マニュアル」手順③、④）

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合	テレビ	76	高
2	021	NHK教育	テレビ	74	高
3	----				
4	041	日本テレビ	テレビ	77	高

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（再スキャン）

地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、受信できる局を自動で追加します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞下記「マニュアル」手順③、④）

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合	テレビ	76	高
2	021	NHK教育	テレビ	74	高
3	----				
4	041	日本テレビ	テレビ	77	高

④ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（マニュアル）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

④◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定　1
CH　011
チャンネル名　NHK総合・東京

⑤ 戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送のチャンネル設定

①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

②▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ

③◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定　1
CH　200
チャンネル名　スター・チャンネル

④ 戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順①の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

設置設定をやり直す
受信設定（地上デジタル放送／地上アナログ放送／衛星デジタル放送）

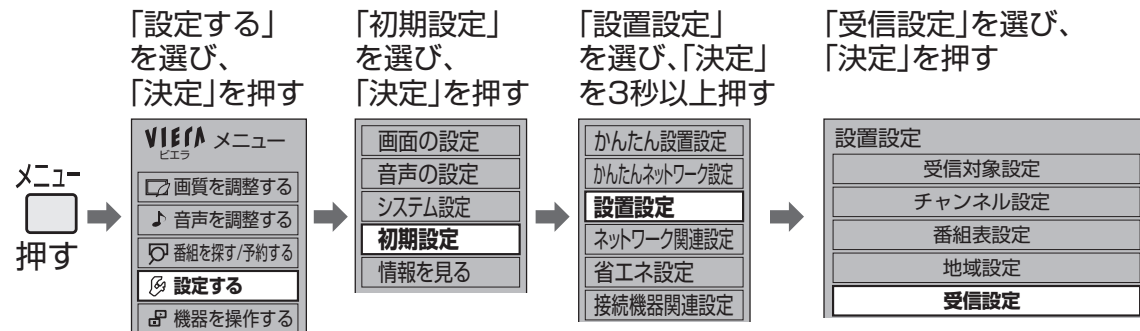
まず、受信設定画面を表示させる

メニュー 押す →「設定する」を選び、「決定」を押す →「初期設定」を選び、「決定」を押す →「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す →「受信設定」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー：画質を調整する／音声を調整する／番組を探す/予約する／設定する／機器を操作する

画面の設定／音声の設定／システム設定／初期設定／情報を見る

かんたん設置設定／かんたんネットワーク設定／設置設定／ネットワーク関連設定／省エネ設定／接続機器関連設定

設置設定：受信対象設定／チャンネル設定／番組表設定／地域設定／受信設定

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合は、設定したい放送に切り換えてから受信設定画面を表示させます。

地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「地上」を選び、「決定」を押す

受信設定：地上／衛星

②必要であれば「アッテネーター」を設定する

●アッテネーターについて（☞29ページ）

■地上デジタル放送の場合

手順③以降に進んでください。

③アンテナレベルを確認する

●地上アナログ放送選局中に表示しても アンテナのレベルは表示されません。

受信設定
アッテネーター　オフ　オン
地上デジタル設定
物理チャンネル選択　○○CH
アンテナレベル
受信状況　○○○○受信中
受信レベル　現在 45　最大 50

受信中の放送局
現在のアンテナ入力レベル（受信の目安は44以上）
最大感知レベル

④▲▼で「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

⑤ 1 ～ 10 で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

●間違えたときは「黄」ボタンを押します。

●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（☞32ページ手順④）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、緑 2 10 と入力します。

（C20の「C」は、リモコンの「緑」ボタンで入力／削除できます。）

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

物理チャンネル入力
①～⑩、⑫ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
22CH

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

⑥アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の受信設定

衛星アンテナが個別の場合、アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す

②アンテナレベルを確認する

③▲▼で「アンテナ電源」を選び、◀▶で「オン」を選ぶ

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへの電源を供給しているときは「オフ」にしてください）

●「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

外部機器の接続・設定

電子説明書の使いかた（☞ 8ページ）

ビエラリンク（HDMI）対応機器

●ビエラリンク（HDMI）とは（? ガイド497）

接続する機器	ケーブル ［接続する端子］	注意事項	参照
ディーガ	HDMIケーブル ［HDMI 1］	●HDMIケーブルについて ・当社製を推奨します。（☞ 接続ガイド） ・HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 ●接続後は必ずビエラリンク（HDMI）を有効にしてください。（「ビエラリンク（HDMI）制御」 ? ガイド801） ●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。（? ガイド801） ●HDMI端子に同じ種類のビエラリンク（HDMI）対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンク（HDMI）の操作対象になります。	接続ガイド 1
CATVデジタルSTB	HDMIケーブル ［HDMI 1］		接続ガイド 1
シアター	HDMIケーブル ［HDMI 1］		接続ガイド 2
デジタルビデオカメラ	HDMIミニケーブル ［HDMI 3］		接続ガイド 3
デジタルカメラ	HDMIミニケーブル ［HDMI 3］		接続ガイド 3
プレーヤー	HDMIケーブル ［HDMI 2］（ポータブルプレーヤーは［HDMI 3］）		接続ガイド 4
パソコン	HDMIケーブル ［HDMI 2］（ポータブルプレーヤーは［HDMI 3］）		接続ガイド 5

■HDMI端子について

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI 2とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」（? ガイド822）が必要です。

●対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p
（24 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

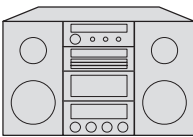
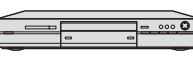
●対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す

②入力切換 を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する

③本機のリモコンで機器を操作してみる（? ガイド550）

お好みで設定できます「ビエラリンク（HDMI）設定」（? ガイド801）

■電源オン連動
ディーガなどの操作に連動して本機の電源を入れます。

■電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切ります。

■ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。

■こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切ります。

■電源オン時の音声出力
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、シアターに音声を出力します。

■ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。

■ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。

■テスト（ディーガ電源オン／ディーガ電源オフ）
ディーガの動作を確認できます。

お知らせ

●ビエラリンク（HDMI）で本機とシアターを接続時、ビエラリンク（HDMI）で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力（光）端子とHDMI 1端子（ARC対応）より5.1chで出力します。（ディーガはビエラリンクVer.2、ビエラリンク（HDMI）Ver.3以上に対応している機種のみ対応）

外部機器の接続・設定（つづき）

電子説明書の使いかた（☞ 8ページ）

ビエラリンク（HDMI）非対応機器

接続する機器	ケーブル ［接続する端子］	注意事項	参照
オーディオ機器	光デジタルケーブル ［デジタル音声出力（光）］ ●折り曲げないでください。	●デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。 ●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。（?ガイド823）	接続ガイド 6
DVDレコーダーなどの録画・再生機器	D端子付き：D端子映像コード［D4映像入力］ ステレオ音声コード［ビデオ入力1］		接続ガイド 7
	D端子なし：S映像コード［S2映像入力］ 映像/音声コード［ビデオ入力2］	●機器にS映像端子がないときは、映像コードを接続してください。	
	HDMI対応：HDMIケーブル ［HDMI 1～3（DVI対応機器は2）］	●HDMI端子について（☞36ページ） ●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力2の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」（?ガイド822）を行ってください。	
パソコン （TH-P50G2/ TH-P46G2/ TH-P42G2のみ）	ミニD-sub15Pケーブル［パソコン入力］ 音声コード（音声出力があるとき） ［ビデオ入力2］	●本機が対応しているパソコン信号 （?ガイド112）	接続ガイド 8
ビデオカメラ デジタルカメラ	映像/音声コード ［ビデオ入力3］	●専用ケーブルが必要な場合があります。	接続ガイド 9

お好みで設定できます

■HDMI RGBレンジ設定
（?ガイド822）
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。

■HDMI音声入力設定
（?ガイド822）
DVI対応機器でビデオ入力２の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。

■ビデオ入力表示書換
（?ガイド822）
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。

■デジタル音声出力
（?ガイド823）
ドルビーデジタル、AAC対応のオーディオ機器を接続したとき、出力の種類を選びます。

■デジタル音声予約録画連動
（?ガイド823）
デジタル音声出力（光）端子からの録音中にチャンネルを切り換えても、録画番組の音声を確実に録音する設定ができます。

■モニター出力停止設定
（?ガイド823）
接続した録画機器への映像や音声のモニター出力を停止する設定ができます。

■入力自動スキップ
（?ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。

■PCスキップ
（TH-P50G2／TH-P46G2／TH-P42G2のみ：?ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「PC」を飛ばします。設定後にパソコンを接続したときは、「オフ」に戻してください。

■HDMIスキップ
（?ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

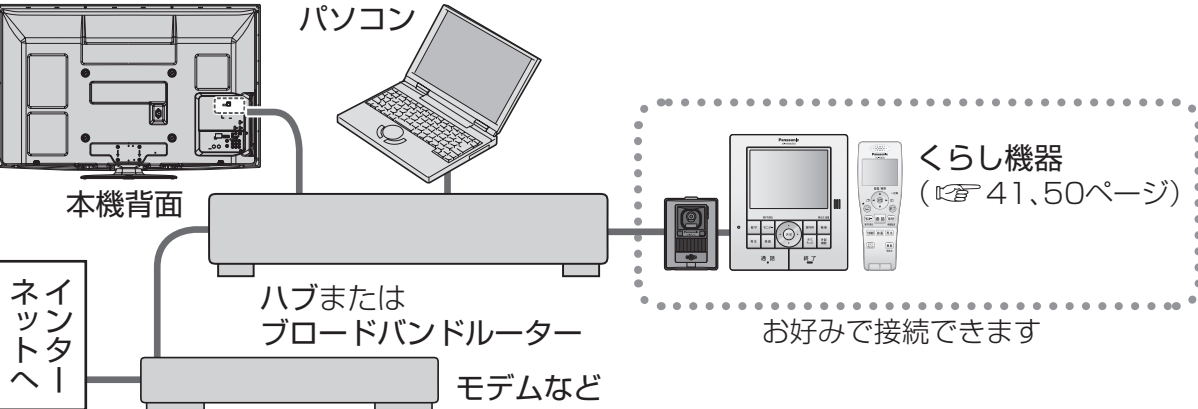
■ビデオ入力端子について
背面　：ビデオ入力1～2
左側面：ビデオ入力3
●DVDレコーダーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

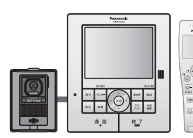
S2映像入力端子（ビデオ入力2のみ）
●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
●再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
・S端子　：色のにじみが少ない
・S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
・S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加
●「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
●「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

D4映像入力端子（ビデオ入力1のみ）
●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コード（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、1080i、720p
●「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

■モニター出力端子について
●DVDレコーダーなどの映像と音声の入力端子に接続します。
●以下の信号を視聴時に出力します。
・本機で受信できる放送（ハイビジョン放送はアナログ放送と同程度の画質になります）
・ビデオ入力に接続した機器の映像、音声
・S2端子に接続した機器の映像
・D端子に接続した機器の音声（映像信号は出ません）
・HDMI入力に接続した機器の音声（映像信号は出ません）
●デジタル放送の録画予約の実行中は、そのチャンネルの映像、音声を出力します。
●音声ガイドの音声、データ放送やアクトビラなどのリモコン操作音は出力しません。

ネットワーク機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞ 8ページ)

●接続のしかた(☞ 接続ガイド 10)

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

●28ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。

●個別に設定するとき:IPアドレス/DNS設定(? ガイド753)
プロキシサーバー設定(? ガイド768)

お知らせ

●光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定を行ってください。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因となります。
●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。
●100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
●アクトビラの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
•100BASE-TX対応のハブまたは、ブロードバンドルーターをご使用ください。
•PLCや無線LANを使わずにLANケーブルでのご使用をおすすめします。
●本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。
パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。
本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続していると き、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。
●本機のMACアドレスの確認は(? ガイド759)

くらし機器

接続する機器		特長	参照
当社製 テレビドアホン		●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。	接続ガイド 10
当社製 センサーカメラ		●デジタルビデオカメラなどにセンサーを搭載し、反応したときに撮影します。 ●本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。	
当社製 ドアホン用 PLCアダプター		●本機とテレビドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、テレビドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。 ●PLCとは、既存の電力線(屋内電気配線)を利用して、データ通信を行う新しい技術です。 ●電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。	
パナソニック電工株式会社製	ネットアダプタ (玄関番用)	●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。	
	ライフィニティ システム (くらし安心ホームパネル/宅内コントロールアダプタ)	●「ライフィニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。	

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

●28ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。(40ページでアクトビラとくらし機器を同時に接続し、すでに設定している場合、本設定は必要ありません。)

●個別に設定するとき:くらし機器を有効にする(? ガイド774)
ビエラリンクメニューに表示する(? ガイド778)

■くらし機器映像の自動表示 (? ガイド773)
呼び出し時に、自動で画像を表示したいとき。

■通知時の表示サイズ (? ガイド773)
呼び出し時の画像の表示サイズを選びたいとき。

■通知表示設定 (? ガイド773)
ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、通知を受けたいとき。

インターネットを使う（アクトビラ）

電子説明書の使いかた（☞8ページ）
※アクトビラ中は表示できません。

まず、ご確認を。
●接続はお済みですか？
（☞接続ガイド10）
●かんたんネットワーク設定はお済みですか？
（☞28ページ）

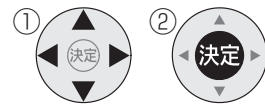
アクトビラの基本操作

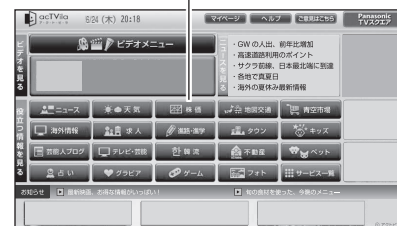
1 「アクトビラ」を押す

（イメージ例）

●ポータルサイトを表示。

2 見たい項目を選び、「決定」を押す

① ②

選んでいる項目が強調される

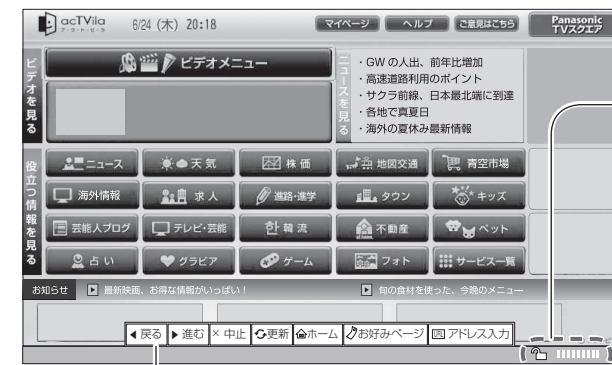
●①と②を繰り返し、見たい情報のホームページへ。

■ポータルサイトに戻るとき　アクトビラを押す。

■終了するとき　［元の画面］または［チャンネル］を押す。
（テレビ画面に戻る）

初めて使うときは

アクトビラを押すと端末情報が送信されます。
アクトビラのご案内画面の指示に従ってください。

●長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。
●端末情報は、郵便番号（かんたん設置設定で登録）や端末の識別ID（本機に組み込まれた番号）が含まれます。

■画面の見かた

■動画コンテンツについて
●有料サービスの場合があります。
●ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。
●購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」（?ガイド742）

■ページの音声再生について（音声コンテンツがある場合）
●モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。
●再生できる音声形式は（?ガイド202）

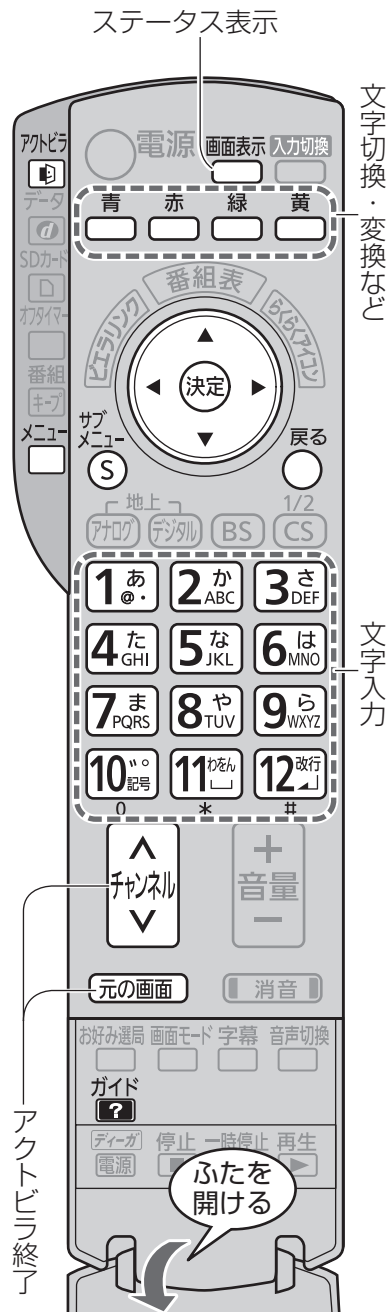
■個人情報について
●クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。
●登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

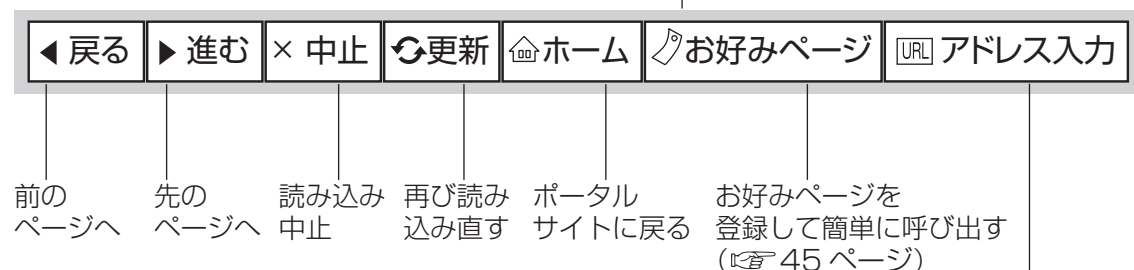
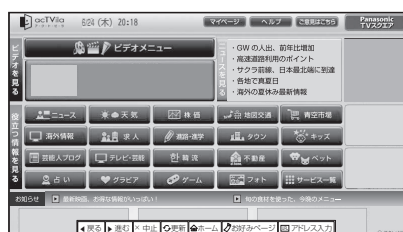
■表示させるホームページを制限したいとき（パスワードロック機能）
①「メニュー」を押す。
②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す。
③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す。
④▲▼で「制限項目設定」を選び、「決定」を押す。
⑤暗証番号を入力する。（?ガイド387）
⑥▲▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で下記の制限内容を選ぶ。

すべて制限	インターネットの利用に暗証番号の入力が必要
アドレス入力制限	アドレス入力に暗証番号の入力が必要
無制限	接続制限なし（暗証番号の入力が不要）

⑦「元の画面」を押して、テレビ画面に戻す。
（設定内容は、一度アクトビラを終了しないと反映されません）

ネット操作パネルを使う(アドレス入力)　(お好みページを使う)

電子説明書の使いかた(☞8ページ)
※アクトビラ中は表示できません。

アクトビラ中に サブメニュー(S) を押すと、
画面下に「ネット操作パネル」を表示

戻る	進む	中止	更新	ホーム	お好みページ	アドレス入力
前のページへ	先のページへ	読み込み中止	再び読み込み直す	ポータルサイトに戻る	お好みページを登録して簡単に呼び出す(☞45 ページ)	アドレスを入力してホームページを見る(☞下記)

■使う項目を選ぶとき　◀▶を押して選び、「決定」を押す。

■消すとき　サブメニュー(S)を押す。

アドレスを入力してホームページを見る

①上記のネット操作パネルから◀▶で「アドレス入力」を選び、「決定」を押す

②アドレス(URL)を入力する
(文字入力☞46 ～ 49 ページ)

③▲▼で「確定」を選び、「決定」を押す

アドレス
アドレスを入力してください。
アクトビラサイト以外は正常に表示されない場合や、予期しない情報・有害情報などを含む場合があります。
http://○○○○.ne.jp/cominsoon/index.html
確定

お知らせ
- アクトビラのコンテンツ以外のホームページは、正確に表示されないことがあります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれる場合があります。
- 表示させるホームページを制限するには(☞43ページ)

「お好みページ」に登録する(20件まで)

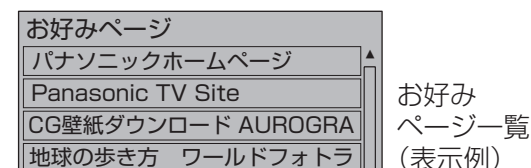
①登録したいホームページを見ているときに44ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

◀戻る ▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ アドレス入力

② 青 を押す

お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

お好みページ一覧(表示例)

③内容を確認して「決定」を押す

タイトル：○○○○○○
URL　：http://○○○○○○○○○○○○○
をお好みページに登録しました。
確認

- 「これ以上登録できません。」と表示されたときは、不要なお好みページを選び「黄」ボタンを押し、「はい」を選んで、「決定」を押すと削除されます。

「お好みページ」を呼び出す・編集する・削除する

①44ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

◀戻る ▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ アドレス入力

②お好みページ一覧から▲▼でページを選び、「決定」を押す
- ページが表示されます。

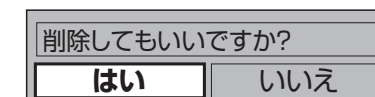
お好みページ一覧(表示例)

タイトルを表示

お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

■タイトルやURLを変更するとき
1)お好みページ一覧から変更したいページを▲▼で選び、「緑」ボタンを押す。
2)▲▼で「タイトル」または「URL」を選び、「決定」を押す。
3)文字を削除し、入力し直す。(文字入力☞46～49ページ)
4)「決定」を押す。
5)確認したら「戻る」を押す。

お好みページ編集
タイトル　テレビ情報
URL　http://○○○.○○.jp...

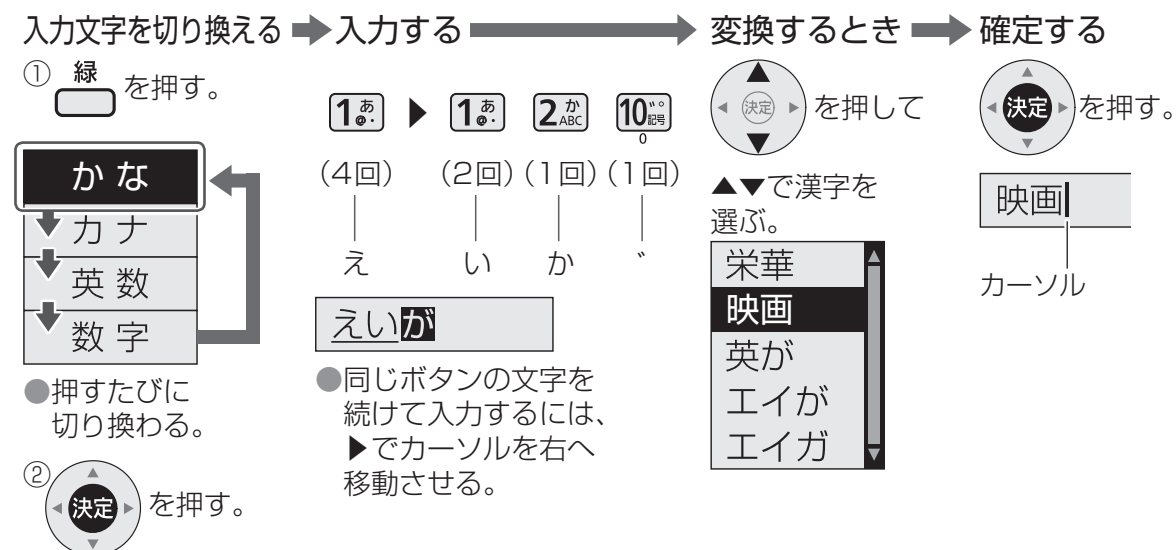
■削除するとき
1)お好みページ一覧から削除したいページを▲▼で選び、「黄」ボタンを押す。
2)確認画面で◀▶を押して「はい」を選び、「決定」を押す。
3)確認したら「戻る」を押す。

お知らせ
- 登録したホームページが提供者の都合でなくなったり、アドレス(URL)が変更された場合は表示されません。
- 「個人情報リセット」(? ガイド742)を行うと、すべて削除されます。

文字を入力する

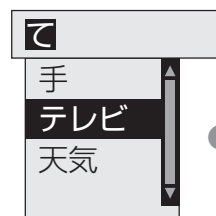
文字入力方法には２種類あります。

リモコンボタン（携帯電話）方法（工場出荷時）

リモコンの数字ボタンを使い、
携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表（☞49 ページ）

■文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき
（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞48ページ）
①1文字入力すると候補を表示。
②▼▲で選び、「決定」を押す。

●「緑」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード（半角）で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

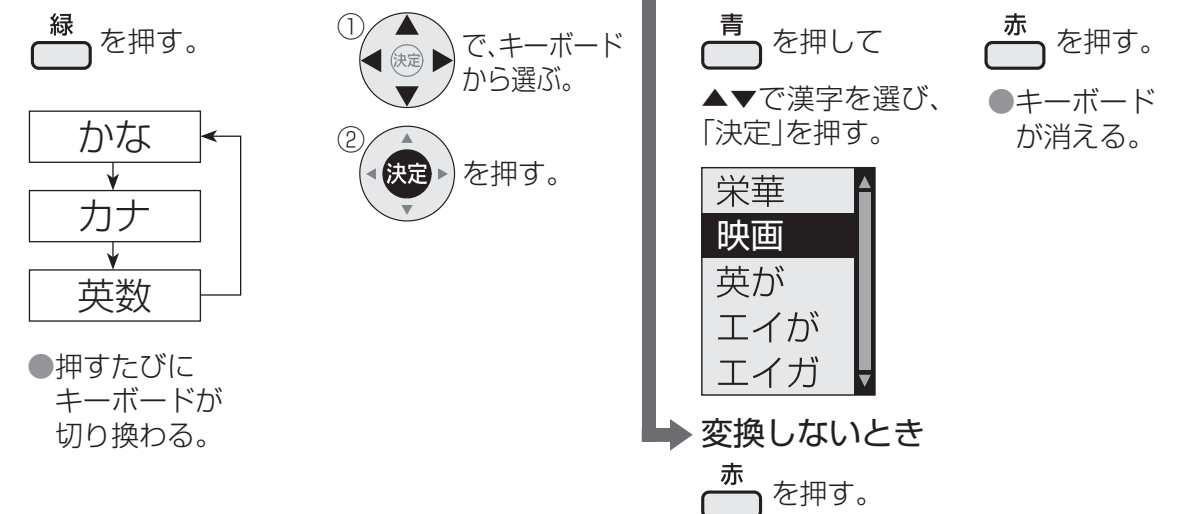
■文字を削除するとき 削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

画面キーボード方法（文字入力方法の選択☞48 ページ）

改行	ー	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
空白	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
キーボード移動	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
入力位置移動	!	っ	え	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え
	?	わ	お	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お

画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

●キーボードを消すときは、「赤」ボタンを押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。（左下または右上に移動）

■文節を分けて変換するとき
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞48ページ）
①文字を選び、「決定」を押すと、キーボード上に候補を表示。
②◀▶▲▼で選び、「決定」を押す。

●「青」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード（半角）で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ①キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。
③文字を入力する。

■文字を削除するとき 上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

文字を入力する（つづき）

文字入力方法を選ぶ

①メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
画質を調整する / 音声を調整する / 番組を探す/予約する / 設定する / 機器を操作する
画面の設定 / 音声の設定 / システム設定 / 初期設定 / 情報を見る

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定

⑤▲▼で「入力方法」を選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ

文字入力設定
入力方法　リモコンボタン
変換方式　通常方式

画面上にキーボードを表示させて入力したいときは「画面キーボード」を選ぶ（☞ 47ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

変換方式を選ぶ

①メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
画質を調整する / 音声を調整する / 番組を探す/予約する / 設定する / 機器を操作する
画面の設定 / 音声の設定 / システム設定 / 初期設定 / 情報を見る

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定

⑤▲▼で「変換方式」を選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ

文字入力設定
入力方法　リモコンボタン
変換方式　通常方式

1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ（☞ 46、47ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

リモコンボタン方法での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1 (あ @.)	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ˜ _ 1	1
2 (か ABC)	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3 (さ DEF)	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4 (た GHI)	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5 (な JKL)	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6 (は MNO)	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7 (ま PQRS)	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8 (や TUV)	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9 (ら WXYZ)	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10 (゛゜ 記号 0)	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	─ , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
11 (わをん ␣ *)	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12 (改行 #)	改行	改行	改行	#

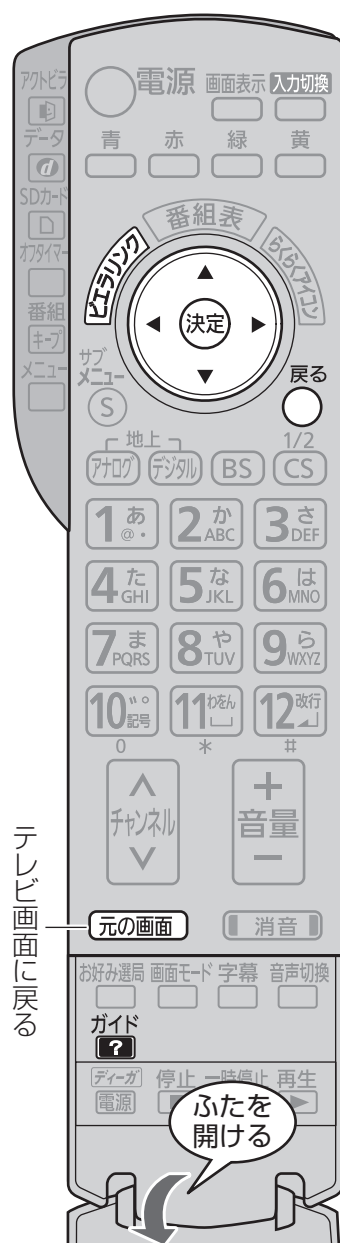
●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を 2 回押す）
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。

●濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて 10 を押す。

くらし機器を使う

電子説明書の使いかた（☞ 8ページ）

まず、ご確認を。
- 接続はお済みですか?（☞ 接続ガイド10）
- かんたんネットワーク設定はお済みですか?（☞ 28ページ）

テレビ画面に戻る

くらし機器からの通知を受ける

テレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す

例：テレビドアホン

通知

くらし機器の画像を表示（「決定」を押すと拡大）

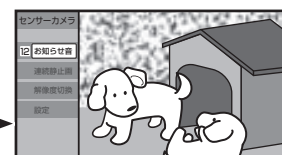
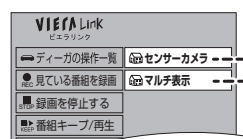
- 「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。（? ガイド773）

確認したら 戻る を押す

- 「戻る」を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

くらし機器の画像を見る

1 「ビエラリンク」を押す

2 くらし機器を選び、「決定」を押す

例：センサーカメラの場合

例：マルチ表示の場合

- マルチ表示は、くらし機器一覧（ビエラリンク設定）画面（? ガイド782）で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。
- 選択したくらし機器の画像を表示します。
- 以降の操作は、各くらし機器の取扱説明書をご覧ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

くらし機器からの通知や画像について

- 約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。（動画ではありません）
  H.264対応センサーカメラの場合は、全画面表示時に動画と音声が出ます。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で動画／画像が止まる場合があります。
- 本機からの応答はできません。
- 画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。
  約1分（DHCP機能付きのルーターを使用していないときは約3分）お待ちください。
- 「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定時は、画面全体に拡大して表示されます。（? ガイド773）
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
- 以下の場合、くらし機器の画像を確認した後に「戻る」を押すと、テレビ画面に戻ります。
  - 番組表表示中　●アクトビラ使用中
  - SDメモリーカードの動画や画像表示中　●データ放送表示中

対応するくらし機器の品番

機器	品番
当社製テレビドアホン	ワイヤレスモニター付　VL-SWN350KL　VL-SWN352KL パーソナルファクス付　VL-SWN355KL
当社製センサーカメラ	VL-CM100
当社製 H.264対応センサーカメラ	VL-CM210　VL-CM240　VL-CM260
当社製 ドアホン用PLCアダプター	VL-SP880 ※対応するドアホンはアダプターの取扱説明書をご覧ください。

- 上記の品番は2009年12月現在発売中のものです。

■パナソニック電工株式会社製

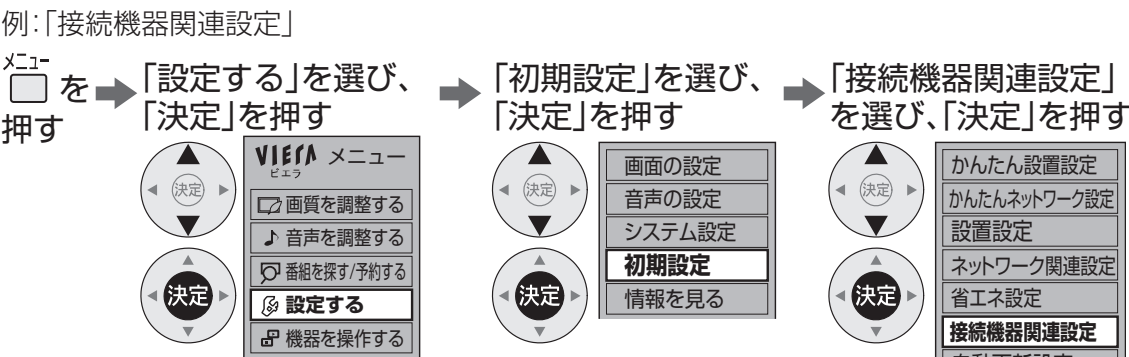
ネットアダプタ （玄関番用）	詳細については http://panasonic.jp/Lif をご覧ください。
ライフィニティ システム （くらし安心ホームパネル／宅内コントロールアダプタ）	

メニュー一覧

操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

メニュー □ を押す ➡ 「設定する」を選び、「決定」を押す ➡ 「初期設定」を選び、「決定」を押す ➡ 「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
かんたんネットワーク設定
設置設定
ネットワーク関連設定
省エネ設定
接続機器関連設定

※の項目は、TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2のみ表示されます。

メニュー	内容	参照
画質を調整する	番組に合わせて、画質をお好みで調整する。(映像メニュー･ピクチャー･黒レベル･色の濃さ･色あい･シャープネス･色温度･ビビッド･色域自動切換･NR･HDオプティマイザー･エコナビ･明るさオート･テクニカル)	?301
音声を調整する	番組に合わせて、音声をお好みで調整する。(音声メニュー･バス･トレブル･バランス･サラウンド･音量オート･イコライザー･低音補正･音量補正)	?311
番組を探す/予約する	見たい番組を探したり、録画予約する。(番組表で･注目番組一覧･今放送中から･ジャンル別に･キーワードで･人名で･時間指定予約で･予約一覧)	?405
設定する		
画面の設定	画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。(垂直位置／サイズ[PC画面調整※]･水平表示領域･HD表示領域･セルフワイド･ID-1検出･ED2検出･3次元Y／C分離･480p色マトリックス･ブランク輝度設定･サイドカット固定･デジタルシネマリアリティ･24pフィルムダイレクト)	?360
音声の設定	イヤホンの音声、音声ガイドの設定をする。(スピーカーとイヤホン音声の同時出力･ヘッドホン／イヤホン音量･音声ガイドの設定)	?365 ?411
システム設定		
字幕の設定	字幕や文字スーパーを表示する。(字幕･字幕言語･文字スーパー･文字スーパー言語)	?380
制限項目設定	視聴できる番組や、アクトビラで表示するホームページを制限する。(視聴可能年齢･ブラウザ制限･暗証番号変更･暗証番号削除)	?385
文字入力設定	文字入力の方法を選ぶ。(入力方法･変換方式)	48ページ
選局対象	チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。	?380
タイトル表示	選局時に、番組のタイトルを表示する。	?380
表示の設定	メニューの表示のしかたを選ぶ。(アニメーション)	?380
録画･視聴設定	次回以降の放送を自動的に予約する。(探して毎回予約)	?296

メニュー	内容	参照
設定する(つづき)		
初期設定		
かんたん設置設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。	28ページ
かんたんネットワーク設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。	28ページ
設置設定(「決定」を3秒以上押す)	受信する放送局の修正やアンテナレベルの調整などを行う。(受信対象設定･チャンネル設定･番組表設定･地域設定･受信設定･クイックスタート･B-CASカードテスト)	?703
ネットワーク関連設定(「決定」を3秒以上押す)	ネットワーク機器を接続するときの設定を行う。(IPアドレス／DNS設定･プロキシサーバー設定･くらし機器設定)	?798
省エネ設定	使わないときに自動的に電源を切ったり、パネルの焼き付きを防止する。(無信号自動オフ･無操作自動オフ･無操作画面自動オフ)	?350
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)対応機器や外部機器を接続したときの設定を行う。(ビエラリンク(HDMI)設定･HDMI RGBレンジ設定･HDMI音声入力設定･ビデオ入力表示書換･デジタル音声出力･デジタル音声予約録画連動･モニター出力停止設定･入力自動スキップ･PCスキップ※･HDMIスキップ)	36ページ ?822
自動更新設定	デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選ぶ。	?750
設定リセット(「決定」を3秒以上押す)	廃棄時などに個人情報をすべて削除する。(個人情報リセット)	?742
情報を見る	デジタル放送からのお知らせや、本機の情報などを見る。(放送メール･B-CASカード･ID表示･ボード)	?160
機器を操作する		
ビエラリンク		
ディーガの操作一覧 / 見ている番組を録画 / 録画を停止する / 番組キープ/再生 / 音声をシアターから出す / シアターサウンドを切り換える	本機のリモコンで、ビエラリンク対応機器を操作する。●接続している機器によって、表示内容が変わります。● ビエラリンク でも表示できます。	?480
SDカード		
スライドショー開始 / 写真を見る / ビデオ一覧を見る	SDメモリーカードに保存したデータを見る。● SDカード D でも表示できます。	?120
放送メール	未読の情報があるときのみ表示。	?160
ネットで使い方ガイド	インターネット上の使い方ガイドを見る。(アクトビラの接続とIPアドレス／DNS設定が必要)	?201

故障かな!?／商標などについて

■故障かな！？（電子説明書の「困ったとき」もあわせてご覧ください。）

●映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった
・本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

●電源が入らない
・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（☞24ページ）
・リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？（☞16ページ）

●リモコンで操作できない
・チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？（☞17ページ）
・電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？（☞17ページ）
・リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？（☞16ページ）
・受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
→本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。（☞16ページ）

●音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う
・実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

■商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C,LLC.の商標です。●CP8 PATENT　●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド（EPG）が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド（EPG）の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットやディスプレイパネルの汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく
・ひどい汚れは、ほこりをはらったあと水で100倍にうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

■化学ぞうきんのご使用について
・ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。
・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

■洗剤を直接本機にかけない
水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない
キャビネットの変質や塗装がはがれます。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
（キャビネットの変質の原因）

お知らせ
●ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
●ディスプレイパネルは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す
キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき
振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。指定の取り付けユニットをご使用ください。

■機器相互のかんしょうに注意
プラズマテレビの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。（発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。）

■接続は電源を“切”にしてから
各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、録画機器、オーディオアンプなど）

■本機を移動されるとき
ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■アンテナは定期的な点検を
風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

■良好な画面で見るために
アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■見る距離と部屋の明るさは
画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

■赤外線通信機器をご使用になるとき
赤外線通信機器（赤外線コードレスヘッドホンや赤外線ワイヤレスマイクなど）をご使用になると、通信障害（ノイズなど）が発生する場合がありますので、影響のない所まで本機より離すかプラズマテレビの光が入らないように機器の受信部を設置してください。

ご使用になるとき

■適度の音量で隣り近所への配慮を
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

■長時間ご使用にならないときは
電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.07 Wの電力を消費しております。

■テレビ本体の一部が熱くなる事があります
前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

■本機は残像が発生することがあります。
画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。（ふだんはブランク輝度設定を「高」でご覧ください。）
静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
●お客様による修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。

誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

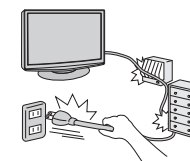
●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、販売店にご依頼ください。

■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

■本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、販売店にご依頼ください。

■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。

●指定の取り付け金具をご使用ください。

雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因になります。

分解禁止について

分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

本機の取り扱いについて

■強い力や衝撃を加えないでください
ディスプレイパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

■乗らないでください
■ぶらさがらないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

■本機の回転範囲に手や物を置かないでください
(TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2の場合)
■付属のスタンドは本機以外には使用しないでください
けがの原因になることがあります。

■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

■通風孔をふさがないでください
■据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください
■ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください
けがの原因になることがあります。
●転倒・落下防止処置は23ページ参照。

■本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください
火災の原因になることがあります。

■据置きスタンドは、指定の手順以外では取り外さないでください
倒れたりしてけがの原因になることがあります。(20、21ページ参照)

(工事専門業者様へ)
■壁掛け金具を使用するときは、工事説明書に従ってお取り付けください
落下してけがの原因になることがあります。

⚠注意

電池の取り扱いについて

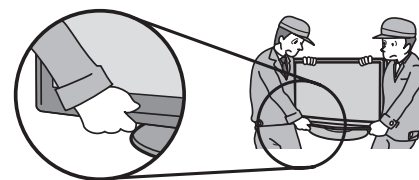
■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。(17ページ参照)

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

■開梱や持ち運びは2人以上で行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

■運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

お手入れについて

■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください
長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または62ページの連絡先にご相談ください。

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事は、販売店にご相談ください
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
●送配電線から離れた場所に設置してください。
●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

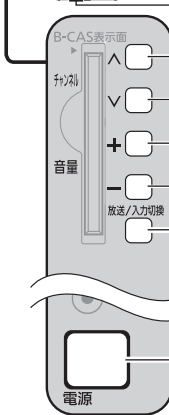
Quick Reference Guide／仕様

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.

(TH-P50G2/TH-P46G2/TH-P42G2)

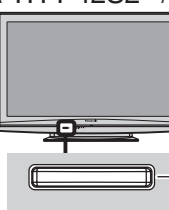
Remote control sensor
- Do not place any objects between the TV remote control sensor and remote control.

■If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

TV, CATV, BS and CS channel selectors

Sound volume controllers

Broadcast and Input signal selector

■First, push the Power to turn on.
➡Operate your Remote control pointed to the Remote control sensor. (Within about 7meters in front of the TV set.)

(TH-P46S2/TH-P42S2)

Turn On or Off

EPG button
Electronic Programme Guide(EPG) provides an on-screen listing of the programmes currently broadcast.

Select a broadcast

Select a channel

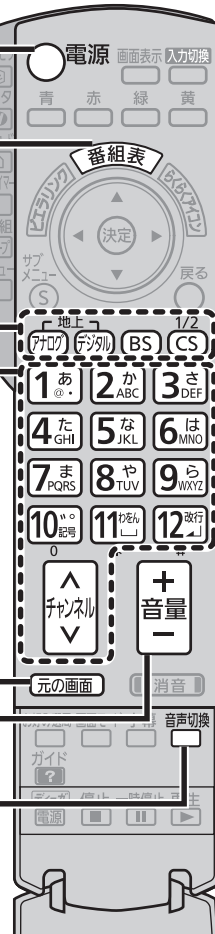
Original screen button
Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

Control the Sound volume

Audio Selector

音声切換 [3 地上A 3] Channel number

- red : bilingual

主
(Japanese-language)
↓
副
(Original-language)
↓
主+副
(Japanese-language and Original-language)

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体					
品番	TH-P50G2(50V型)	TH-P46G2(46V型)	TH-P42G2(42V型)	TH-P46S2(46V型)	TH-P42S2(42V型)
種類	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ				
使用電源	AC100 V　50/60 Hz				
消費電力	398 W	365 W	335 W	365 W	335 W
	本体電源「切」時　約 0.07 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く) (クイックスタート「入」設定時、またはデータ取得時※　約 14 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき				
年間消費電力量	168 kWh/年 (スタンダード時)	158 kWh/年 (スタンダード時)	154 kWh/年 (スタンダード時)	170 kWh/年 (スタンダード時)	154 kWh/年 (スタンダード時)
区分名	DH(FHD、プラズマ、付加機能なし)				
受信可能放送	VHF：ch1～12／UHF：ch13～62／CATV：c13～c63／BSデジタル 110度CSデジタル／地上デジタル(CATVパススルー対応) ※ワンセグ放送を除く				
音声実用最大出力	20 W(10 W+10 W)JEITA　スピーカー：フルレンジ 16.0 cm×4.0 cm　角型 2個				
プラズマディスプレイパネル	アスペクト比(16：9)　駆動方式　AC型				
	50V型	46V型	42V型	46V型	42V型
画素数	2,073,600画素(横1,920×縦1,080)[ドット数 5,760×1,080]				
画面寸法	幅 110.6 cm 高さ 62.2 cm 対角 126.9 cm	幅 101.9 cm 高さ 57.3 cm 対角 116.9 cm	幅 92.2 cm 高さ 51.8 cm 対角 105.7 cm	幅 101.9 cm 高さ 57.3 cm 対角 116.9 cm	幅 92.2 cm 高さ 51.8 cm 対角 105.7 cm
動作使用条件	周囲温度：5℃～40℃、相対湿度：20%～80%(結露なきこと)				
接続端子 NTSC関連	●ビデオ入力1～3 (ビデオ入力1、3はS2映像なし)　[S2映像:輝度・色信号分離(75 Ω)　映像:1 V[p-p](75 Ω) / 音声:左・右　0.5 V[rms]] ●モニター出力　[映像:1 V[p-p](75 Ω)　音声:左・右　0.5 V[rms]]				
接続端子 D端子ビデオ関連	●D4映像〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、P_B/C_B：0.7 V[p-p](75 Ω)、P_R/C_R：0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声：左・右　0.5 V[rms](音声はビデオ入力と兼用)　入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式				
接続端子 衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)　兼　衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力				
接続端子 パソコン入力	●RGB(ミニD-sub15P) 音声：左・右0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力2と兼用) 表示画素数、対応信号について(?ガイド112)			－	
接続端子 HDMI入力	●HDMI端子 3系統(HDMI 1端子：HDMI1.4 ARC[オーディオリターンチャンネル]対応) (本機はビエラリンク[HDMI]Ver.5に対応しています。)対応信号について(☞36ページ)				
接続端子 その他	●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm　●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応)　●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨)				
外形寸法 据置きスタンド含む	幅 121.8 cm 高さ 80.8 cm 奥行 33.5 cm	幅 113.2 cm 高さ 76.1 cm 奥行 33.5 cm	幅 102.9 cm 高さ 69.3 cm 奥行 30.8 cm	幅 113.2 cm 高さ 76.7 cm 奥行 40.1 cm	幅 102.9 cm 高さ 70.4 cm 奥行 33.4 cm
外形寸法 本体のみ	幅 121.8 cm 高さ 76.9 cm 奥行 8.8 cm	幅 113.2 cm 高さ 72.2 cm 奥行 8.8 cm	幅 102.9 cm 高さ 65.4 cm 奥行 8.8 cm	幅 113.2 cm 高さ 72.2 cm 奥行 9.3 cm(下部最大 10.4 cm)	幅 102.9 cm 高さ 66.1 cm 奥行 9.3 cm(下部最大 10.4 cm)
質量 据置きスタンド含む	約 29.0 kg	約 27.0 kg	約 23.5 kg	約 30.0 kg	約 25.0 kg
質量 本体のみ	約 26.0 kg	約 24.0 kg	約 20.5 kg	約 28.0 kg	約 23.0 kg
キャビネット材質	前面：樹脂、背面：金属				
角度調整範囲	左右：約 10°		左右：約 15°	固定	

●年間消費電力量：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
●テレビのV型(50V/46V/42V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン (品番：N2QAYB000481)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約 7 m以内 (テレビ正面距離)
	質量	約 150 g (乾電池含)	操作範囲	左右各 約 30° 以内　上下各 約 20° 以内

保証とアフターサービス

修理・使いかた・お手入れ などは…
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　) ー
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

54ページの故障かな !? と電子説明書（トップページ）の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョンプラズマテレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし…　●プラズマディスプレイパネルは2年間
　　　　　●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は………………………………

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問合せ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1109